MOMA
ワークショップ・レポート
Amelia Arenas

(1) アートとは何か　11/30. 9:00〜12:00 P. 1

(2) ティーチング・テクニック　12/02. 9:00〜12:00 P. 20

(3) ボイス・オブ・ミュージアム　12/03. 9:00〜12:00 P. 37
美術言語と視覚

(4) ギャラリー・トーク　12/03. 13:00〜14:00 P. 42
なぜアブストラクトなのか?

このレポートは, 11/28 〜 12/4. 1993に実施された「ニューヨーク近代美術館研修会」のワークショップ部分を, テープにより収録したものである.
①〜③はエデュケーション・センターでスライドを用いて実施され, ④はMOMAの展示室にて常設作品を用いて行われた.

●

Amelia Arenas は1956年ベネズエラ生まれで, コロンビア大学・院で美術史を学ぶ. 現在, MOMAの教育部で Program Designer and Teaching Specialist および Senior Lecturer and Writer として活躍している.

●

■ワークショップには以下の作品が使用された.

①ジャクスン・ポロック「 ONE 」	1950
②ティティアーノ 「鏡の前のヴィーナス」	1553
③ゴッホ 「 Shoes 」	1886
④エディ・モア「ヴェトナム」	1968
⑤Ekpetribe 「 Emblem 」	1980s
⑥Abbot Suger Chalice (聖杯)	C. 1140
⑦ピカソ「雄牛の頭」	1943
⑧ジェローム「ピグマリオン」	1880
⑨Wrisht of Derby Cormthian	1783-4
⑩Carouassi Follower「ナルシス」	1610
⑪ベラスケス「ラス・メニーナス」	
⑫detail	
⑬ゴッホ「自画像」	
⑭ピカソ「yo-Picasso」	
⑮ハートフィールド「Self Portlate 」	1929
⑯テレビからの複写「ウオーホル」	1989
⑰日本の浮世絵	
⑱寓意画 (題名不明)	
⑲ポスター 2枚	
⑳ファイナルー You have always to stret a new	1991
㉑マレーヴィッチ「ホワイト・オン・ホワイト」	
㉒ニューマン「ザ・ヴォイス」	
㉓ラインハルト「アブストラクト・ペインティング」	

●

レポート作製 新井義史 (北海道教育大学釧路校・助教授)

「アートとは何か」

11/30　9:00 ～ 12:00

FUKU ――――――　彼女がアメリア・アレナスです．MOMAで，どんなプログラムをして何をするかを決める，教育部の主任です．一番上の人です．アドミニストレーションの方の一番上の人が挨拶してくれるかもしれないんですが，彼女が内容の方の主任です．

美術史家でもあるし，いろんな大学でも教えていて，それから，MOMAの「ギャラリー・ウオーク」，これは売っているんですがそれを見ながらMOMAを廻るっていう本を２冊，それも書いた人です．それからシンシナティ・ミュージアムのカタログも全て書いた人です．バンバン当てられますからね．

昨日フィリップが言っていたように，間違いとか正しいとか，そんなことを考えないで，とにかくどんどん声を出して答えて下さい

〔初心の心〕　美術館教育，どんな形であろうとも，人々を何か変えていくための美術館教育にとって必要なことは，私たち自身が，アートとは何かという定義を持っていることです．

美術の専門家としていろんな分野で長期間にわたって仕事をしていると，私たちは初心者の時にどういう風な段階をへて今に到達したかってことを，一般の人たちはある意味では初心者であるわけですから，その人たちがどういう状況にあるかということを忘れがちだと思います．

美術の分野で長いこと仕事をしていますと，アートとは何かということを，もう考えなくなってしまう．これはアートなんだ，あたり前なんだと思うし，考えるということを忘れがちだと思います．

〔一般人の疑問〕　一般の人たちが美術館に来るときに，とても重要な質問・疑問ってものを皆の中に持っていると思います．それは哲学的な質問でもあり，本当に重要な疑問だと思うんですけど，美術，アート，芸術とは何なのか．芸術の性質，特質というのはいったい何なのかという質問が彼らの中にあると思う．

一般の人たちが質問してくれるなら，どんな質問が出てくると思いますか？

「この絵どういう意味？」そういう質問が多いですね．「なんでこれがアートなの？誰でもコンナン描けるよ」「なんで美しくないの？」「なんでこんなに値段が高いの？」こういった疑問というのは，私たち自身，自分たちにね，美術のプロフェッショナルとして質問することを，あまりしなくなった事柄だと思うんですけれども，哲学者っていうのは，もう何世紀にも渡って，この質問をし続けてきました。

私は美術史家としての訓練を受けたわけですけれども，美術史家としては，こういう質問をしないように，というトレーニングを受けてきました。

一般の人に教えたりギャラリー・ウオークを書いたりしてきましたので，長いことか

かったんですけど，ひとつ気付いたことがあります．それは一般の人たちと哲学者の質問はある意味では同じだということです．だから私が大学院生に教えようと，小さい子どもに教えようと，どんな時でも今言ったような質問を基本にして教えています．だから今朝の授業でどういうことをしようとしているかといえば，今言ったような質問に答えるような授業にしていきたいと思います．

もちろん答えはそれぞれの人によって違うと思いますが，もちろん時代によっても文化によっても違ってきたと思います．なぜこの質問が重要かということの一つの理由としては，「多くの答えがあるからだ」ということもいえるだろう．一般の人たちは答えは一つだと思っている．私たちが，一般の人たちに，アートとは何かということをいろんなかたちで考えるということを奨励したりインバイトしたりすると，そのこと自体は難しいというよりか楽しいことであるということに皆気付いてくれるはずだ．

〔アートとは何かを考える〕

これから７枚の作品のスライドを見せます．選んだ７枚は全然違う作品なんです．時代的にもテクニック的にも．本当に極端から極端な作品です．それを見て７枚のスライドに共通することは何かということを考えてみて下さい．そしてそれらの中から，アートとは何かということを考えてほしいと思います．

〔　１枚につき約15秒 ―― ７枚のスライドを見せる　〕

これらの作品は，美術館に入っているんだから，アートであると仮定しないといけないですね．収集した美術館を信じて，まずアートだと想定しましょう．その上でアートとは何かを考えてみましょう．

＜ポロック＞

『これらの作品に共通するものは何だと思いますか？』

ANS ―――――――― 「人間が作ったもの」

もちろんそれは正しいです．私は今からへそまがりの人間を演じますので，一回一回聞かれたら，「そうなの？」って質問します．それが間違っているとか正しいとか，そういう意味ではないんですよ．でも，そうして質問すると，もう一度皆が考えるからするんで，「イヤァ，あんなこと言われるンやったら言わんトコ」なんて思わないでね．「人間によって作られたもの」って答えられたけど，ＯＫ，この靴も人間によって作られました．コーヒーもこれも．それだけでは充分ではない．人間が作ったものというのは正しいんですけれども，他の，人間が作った，いま言ったようなものから違うこと，わかります？　言ウてること？　なにか？

ANS ―――――――― 「衣食住というものを越えて，人間になにか根源的なもの」ベリー・グッド．人間に根源的なものだと言うンなら，この７枚の作品が無かった時に人間の根源的な問題になるんでしょうか？　死にますか？

FUKU ―――――――― もしこれを知らなかったり，無かったりしたら，人間として

れだけ重要なものならば，それを知っていないということで，一段下のランクの人になるんでしょうか？

ANS ——

ANS ———————— そんなことは無い．衣食住があれば生きていけます．

『この７枚のものはどんなものをあなた（人間）に与えてくれているんでしょう？』

ANS ———————— どう生きていくとか．

人生の質，ＯＫ，グッド．他は？
「この７枚は，ある意味で私たちに，人生におけるクオリティみたいなものを与えてくれていると思います」　と言われたと思うんですが．じゃぁあなたが正しいかどうか話ししながら考えていってみましょう．

ANS ———————— 「人間が何を考えて生きているのかを表しているものである」

ＯＫ，人生とは何だったのかをある意味で表している．しかし，靴だってそうかもしれない．これらの作品は，靴よりももっと重要な人生についての何か特別なことを語っている．もっと特別なことは何なんだろう？

ANS ———————— 「つくった人間のネ，精神の高まりを表していると思う」

ＯＫ，他の国，他の時代に作られたものだけれども，私たちはいま，作った人間というものに注目しているわけです．

ANS ———————— 「僕はもっと次元が低いんですが，普通だったらどうしてこれを作ったんだろうと，作った人を考えるんだろうけれども，この７枚は，なぜ，特に１枚めは，どうしてあれを描く気になったんだろうと．

ベリー・グッド．このポロックの作品を見て，ほんものネ見て，それから，その作品が，たとえばティシャツにプリントしてあるのを見た時，同じ物でも違うように考えますよね．ここにあって，この本物の中にあって靴の中には無い，ある意味の特別な意味とか内容というものをやっぱり受けるから．置いてネ，白い部屋にガードマンも立てて，美術館教育者もいてネ，先生にこのコンセプチュアルな作品についてしゃべらせたら，そうしたら，このポロックの作品をティシャツにしたものよりも，もっと意味のあるものになるかもしれない．そう思いませんか？
　だんだん近づいて来ています．

ANS ———————— 「人間が作り出した物体であるんだけれども，大事に保管されて

きたもの，大切にされてきたもの」

ベリー・インポータント，これが一体何であるかは別にしても，ある誰かにとって，これは保存しようと努力を払うくらい何か重要なものが，誰かにとってあったと思うンです．つまりネ，いまのことを一歩進んで考えればネ．
この描かれた絵ネ，誰かが，これは収集すべきだと考えて，保存したんでショ．なぜでしょう？

<ﾁｨﾁｨｱｰﾉ> いま７枚見せた中で，このﾁｨﾁｨｱｰﾉの作品が一番，たいていこれが美術だよネといえば，ウン，という作品ですよネ．そういう意味では考えやすいネ，今の質問を．
なんで皆，これがアートやて納得するんですか？他の作品よりも．

ANS ―――――――― 「人を啓蒙させる要素が入っているから」

アー，ハー，ベリー・グッド．

ANS ―――――――― 「美しくて，人が知っている要素が入っている」

２つのことを言ったと思います．たいていの人は女性が鏡の前にいると見ますよネ．道歩いている人に聞いたら，太った女ヤと思うと思うンですよ．おなか見てくださいって！かわいい子どもじゃないですよね．小さい頭で，からだが大きい．
それだったら，何が美しいと言わせたんですか？

ANS ―――――――― 「細部を見ないで，女性，子どもであることから」

みんな女性を描いたのを見るのは好きだと思うンですよネ．しかも裸だったらもっと好きだと思います．ブロンド，若い，裸，女．
それだけがこれを見て美しいと言わせたんでしょうか？タクシーの運転手をつれてきて見せても，これがアートだと言うでしょう．もちろんそうした題材も重要，意味あると思うンですが．

ANS ―――――――― 「神話だから？」

でも，タクシー・ドライバーたちは，これが神話だってすぐに分かるの？
鏡の前の女だ，それだけだと思う．

ANS ―――――――― 「他の人たちがそう言ってるからじゃない？」

ベリー・グッド．誰かが，これはアートだって言ったからかしら？　じやあどういう風にそれがおこってきたんでしょうかネエ．

＜ポロック＞　これは私は皆に美しいって言いつづけているんです．でも，皆それを信じてくれないんですよ，あれはアートじゃないって（笑）

＜ﾁｨﾁｨｱｰﾉ＞　４世紀にわたって，人々はこの作品が美しいと言っています．
50年間人々がこれを美しいと言っています．
私たちは信じているからこそ，そうなると思う．伝統からもくると思うんです．

＜ポロック＞　ポロックがこの作品を作った時，皆これはジョークだと思った．たとえば60年代にはアンディ・ウオーホルがマリリンモンローを作った時に，皆は逆にアンディが冗談やってると思った．なぜポロックのような作品を作らないかと（笑）．10年でそれだけ変わってしまった．

＜ﾁｨﾁｨｱｰﾉ＞　長い間，ある作品を見て，それと共に生きてくると，それが自分のレパートリーのひとつになってしまう．実際，このﾁｨﾁｨｱｰﾉの絵は，人間の中のいくつかの欲望を満足さている，たとえば，「美」「理想の美」ユニバーサルではないけれど，でも私たちがそれを受け継いできたもので，習慣とか歴史を通じて親しみもあるし．
たとえば，この絵が黒人の女性が描かれていたらどうでしょう．それだけでも問題ですよね．たとえば60歳の女性だとしたらそれも問題ですよね．私たちはこの作品を見て美しいと思ったその裏には，若い女性，ブロンドの裸の白人のビーナスというものを私たちは見慣れてきたから．だからそう反応するようになってきていると思う．
さっき，だから言ったけど，ポロックと較べて，ティティアーノの作品は描いてある題材がもっとファミリアだと言った．ポロックの作品には具体物は描かれていませんから．ティティアーノは具象ですよね．人々にどちらがアートか聞けば．ほとんどの人がティティアーノのほうをアートだと言うでしょう．

＜ゴッホ＞　最初にゴッホがこれを描いたときに皆，これがアートだとはゼンゼン思わなかった．1915年ぐらいになってから，ひょっとしたらこれはアートなんじゃないかと，皆が思い始めた．ゴッホが死んでからもっと後にね．これが描かれたときに人々はなぜ，これはアートじゃないと思ったんでしょう？

ANS ―――――――― 「美しくないから」

どんな風に美しくないの？

ANS ―――――――― 「ティティアーノと較べて，描かれている対象物が美しくないから」

描かれている内容物以外で，「絵自体」ではどう？　古い靴だということに加えて，何がきれいじゃ無いんでしょう？

ANS ―――――――― 「タッチがラフ」

そうね，過去の作品と較べたら，タッチはきれいじゃないね．デリケートさが無いしネ．まるでウンチで描いたように見えるものネ（笑）　茶色だし，きれいじゃないね．この作品は何を表しているんでしょう？　美術に興味を持っていない人に，この作品をどういうふうに説明しますか？

ANS ――――――――――「歴史と共に歩いてきた人間の生活というか，描いた人のことを想像する」

ＯＫ，いいよ．　この作品好きでしょ．

ANS ――――――――――「まあネ」（笑）

〔ゴッホの靴の絵の意味は曖昧〕

いまの人は，この作品の外に何かを求めようとした．前のティティアーノの作品と較べたら，このゴッホの靴の絵の持つ意味はとてもあいまいだと思う．

この作品がきらいだという理由をあげてみれば，「美しくない」古い靴だもの．たぶん年とった農夫がはいたんだろう．でも，美術史の中では，貧しい農夫を描いても，皆が好きだという作品もある．たとえば，夕日の美しい景色のなかで貧しい農夫が何か運んでいる．羊が後ろにいて，羊飼いがフルート吹いているような作品ネ

金持ちの人はいつも貧しい人が描かれた風景が好きだという伝統があるじゃない（笑）　でも，この絵はそういう貧しい人じゃない，靴なんですよ（笑）　色が美しくないとか，タッチがラフだということに加えて，私たちはまだ気付いていないけれども，この作品に対する私たちの反応の中に，すごく重要な意味が残っていると思います．

絵の中ではなくて，実際に一足の靴を目の前に見てると想像してください．どれくらいこの靴に近づいているのか．

これくらい近くに見てないといけないですよネ．

農夫の古い靴．　ひざまづいて見る．　におい．　古い靴．　いい臭いじゃないですよね．すごく現実的なものを感じると思います．なぜゴッホの作品の人気が高まったかというと，私たちは，ゴッホのその姿勢に圧倒されながら，靴の持ち主の貧しさとか，人生とか，経験，時間とかを感じられるからだと思う．

ハイデッガーが言ったンですが，私たちは，この靴がひとりの男性のクツだと想定してしまっているけれど，本当かしら．左右を較べたら，一方が大きく見える．ひとりの人間の靴なのか？しかも良く見たら両方とも左側の靴のように見えますよ！二人の靴だったのかもしれない．ゴッホ自身の靴だったのかもしれない．

〔昔は絵の意味は明らかだった〕

伝統的に，歴史的に，絵の中の意味とは，こういう風に伝えたいという意味がすごく明らかだった．でもこの絵は，本当の意味というのは分からない．さっき言われたように，私たちは，この絵の外に意味を見つけだそうとする．

ＯＫ，じゃ，こんどはこれと比較しましょう．

＜エディ・モア＞　20世紀も進んできてゴッホはアーティストとして受け入れられただけじゃなく，偉大なアーティストとなってきた．じゃ，こんどはこれはどうでしょう？

これも大抵の人たちは，これはアートじゃないと言う．なぜこれはアートじゃないんだろう？

ANS ―――――――――― 「写真だから」

でも，ウエストンとかアンセル・アダムスの写真の作品を見せた時．メープルソープの美しい花の写真を見た時に，人々は，それはマア，アートだと，そう言うでしょう．同じ写真でもネ．でも，人々はこの写真はアートだとは言わないんですヨ．

ANS ―――――――――― 「ベトナム戦争の報道写真だから」

これは新聞に載った写真です．

ANS ―――――――――― 「殺人現場を人が鑑賞するものではないと思うから」

イグザクトリー，報道写真というだけじゃなくて，殺人現場にいあわせながら，こういう写真を撮ったこと自体が罪，モラルに反すると思うでしょう．この写真家，彼自身すら，自分はアーティストだと思っていなかったでしょう．

おもしろいですよね．これは美術館に収蔵されている作品です．アートだと言われている．作品を作った人自体が，この写真はアートだと思っていなかったでしょう．じゃあ美術館はウソをついているんでしょうか？これはアートだって．　アートだと思ってつくっていないじゃない．ジャーこれはアートでしょうか，違うんでしょうか？

アートを作ろうと思っていなかったのに結果的にアートになってしまったなんてことはあるンかしら？　そういうこともありうると思いますか？

これは，1968年にベトナムで作られました．でも，もし，1978年に，これが撮影されていたら，それとまた同じ作品でも，たとえば，1978年に，ホンコンかどこかの道で，銃を持った人が金を出せと言っている作品だったとしたら，同じ様なインパクトがあるでしょうか？　いま新聞を頭に描いてください．新聞にこの写真がのっているんです．その下に説明がある．きのうホンコンで，誰かが強盗しようとしたとこでっすって．それを考えた時にそれはアートでしょうか？

ANS ―――――――――― 「ベトナムだから意味が出たんじゃないノ」

〔歴史を象徴している作品〕　これはインパクトのある作品だと一応認めるでショ．でもそういうのが皆すべて美術館に収集されるわけじゃない．新聞にこれが載っていて，これはスゴイ，ってなって，美術館に収集されて，アートだっていわれるようになったのは，ある意味では，ひとつの歴史の中のひとコマを象徴している重要な作品だったからですよネ．

同じような痛みを感じる作品でも，美術館の収集する作品にならないということは，歴史的な意味が関係してくる．　この作品は，疑い無くいいと思います．

写真家は，現場のこんなに近くにいるよネ．銃を持っている人は，写真家を撃つかもしれない．カメラマン自身，自分の命をかけてるかもしれない．そういう状況にあってすごく冷静にひとつのフレームの中に撮れたということから，同時に思うのは，写真撮る暇があったんなら，どうしてそれを止めさせられなかったんだということ．　そうも思うでショ．　新聞を広げて，この写真を見たときに考えることは，いま，こうして見ている私たちよりももっといろんなことを考えると思う．

この写真は，ベトナム戦争が一番激しいときに撮られて，報道された写真なんですけど，こういう力強い写真がアメリカの新聞に報道されたということで，アメリカから彼方のところで戦争は行われているけれども，これが現実だ！というものすごく強いインパクトを与えた．　アメリカの良心にすごくインパクトを与えた．

この作品を作った彼は，有名になって，突然アーティストになった（笑）ヌードとか花とかの写真を撮りまくった．しかし，ぜんぜん良くない（笑）　アーティストじゃないと思ってた時にアートの作品を作ったのに，アーティストだと思ってやったら全然いいのができなかった（笑）　おもしろいですよね．

＜エクペ＞　ジャこれはどう？　スライドではどんなふうに作られているか分からないかもしれないから，じっくり観察してください．羽，骨，動物の頭蓋骨，木の枝，血と精液と尿と胎盤なんかで作られている．

ANS ―――――――― 「乾燥してるノ？　大きさは？」

イエス，イエス，（笑）　大きいよ．
この作品の持つ意味を考えてください．これはエクペ族のひとつの紋章なんです．

ANS ―――――――― 「こういうのがたくさんあるの？」

もちろんこれは何百年も残るわけじゃないデショ．だから新しいものを作っていく．

ANS ―――――――― 「なにか儀式のなかで使われたんですか？」

イエス，なんでそう思ったの？

ANS ―――――――― 「日常品として使えそうもないと思ったから」

そうね．装飾品という感じもありませんよネ．　儀式で使われました．この部族のテリトリを表すひとつのしるし．他の部族と会うときにこれを持っていった．

ANS ―――――――― 「その部族には，そんな材料しか無かったノ？

ＮＯ，金も宝石も織物もいっぱいある．

ANS ―――――――― 「エネルギーを感じる」

血とか精液とか塗って人に見せる．

ANS ―――――――― 「いけにえの象徴みたいに殺したものを自分のものにする？」

ＮＯ，自分たちの血．殺した血じゃない．女性の生理の血とか，そういうものも全部入っている．　これはなぜアートなんでしょうか？

ANS ―――――――― 「めずらしいから？」

〔社会・文化の背景の違い〕

ユニークだという，それもアートのひとつの特質ではあるけれども，地下鉄でもそこらじゅうにこれがあったら，これはアートじゃないかもしれないネ．靴をこうして履いてるときはアートじゃないけれど，台の上に展示したら，他の靴と違うように見える．そういうふうなもんですよね．

私たちにとっては，これはすごくユニークなものです．でも，作った部族にとってはユニークじゃないかも知れない．でも，重要なものなんです．象徴としてね．

西洋に住んでいる私たちが，どこか別の世界で，こういうものを作って，これにパワーがあると信じている人たちがいるということを知った時，すでに私たちは，これがアートだと信ずるところがあると思う．　これは自分たちの言葉の中に，アートという語すらない部族によって作られたものです．

前の，エディ・モアの写真は，彼がアートだと思わなくて作った．しかし，彼の文化の背景には，アートという言葉も存在した．しかしこの人たちの文化，社会には，アートという言葉すら存在しない．そういう人たちが作った作品．

想像してみてください．これを作った部族の人が，その人たちは，血とか精液とかに特別なパワーがあると信じている人たちが．これは

メトロポリタン美術館のアフリカのところにかけてあるんですが，その部族の人たちが来た時に，メトのガラスケースの中に，これが展示してあって，その横には，別の部族の同じようなものがあって，またこっちには，敵対するような部族のものがあって，そこから発せられているスピリット・パワーみたいなものが，そこらへんにウヨウヨしているとしたら．この部族の人たちが，それらを見た時のことを想像してみて下さい（笑）

もし，これを作ったエクペ族の人が，メトに行って，展示されているところを見てネ，そこにキャプションが書いてある．彼が英語を読めるのならばネ，そこにはこう書いてある．「エクペ・トライブ・エンブレム，1980年代．」その下に，素材はミクスト・メデイアと書いてある．血，母乳，精液とか書いてなくてネ，ミクスト・メデイアなんて書いてあったらどう思うでしょ，その人（笑）　そしてネ，ギャラリー・レクチュアーがいてね，この作品について話している．

「これ，構図としては，ちょっと中心から外れたところにクロスしていて，構図としてはとても良い作品だと思います」とか（笑）
話ししていたららネ，そのことを考えてみてください．「モノクロームで，その深さとか素材の素晴らしさ」とかでギャラリー・レクチュアーが話ししていたら．（笑）

この作品を通して，私たちが学ぶことは，「私たちが見ているものはそのものとは違うものである」ということを教えてくれているかもしれない．私たちは，靴を見るとき，靴として見ない．アートとして見るとき，新聞にのったエディ・モアの写真を新聞の作品として見ない．言ってること分かりますか？

ゴッホの靴を見たときに，あれは靴の作品である．じゃなくて，あれは農夫のとか，描かれてない，たとえばティティアーノの作品を見た時に，アッこれはキャンバスの上のペイントだと，まず見ないでしょ．ビーナスかもしくは永遠の美の寓話であると見る．

＜聖杯＞　　ＯＫ，こんどはこの作品ネ

教会で使われる聖杯．ここに赤ワインを入れて飲んで，イエスの血となる．知ってますよネ．これとエクペ・トライブとの違いは何でしょう？

ANS ―――――――― 「素材が豪華なもので，美術的に優れている」

ＯＫ，他には？

ANS ―――――――― 「実用的に，キリスト教で用いられた」

もちろん何千万円も出してこれを買って，ワイングラスをして使おうと思ったら使えますよネ，でもエクペの人たちは言うかもしれないよどうして？　これとてもユースフルよ．使ってるよボクたちって．
役にたつものとは，私たちにとっては役にたたないかも知れない．彼らにとっては有効かもしれない，両手に持って，敵にパワーを与えるもの．大変有効でしょう．たとえば，この杯も，ワインが血になるっていう特別な儀式の時に使われたんだから，毎日役に立つわけじゃない．正餐以外に使ったら磔の刑だよ（笑）

ANS ―――――――― 「キリスト教徒にとっては，ミサの時に必ず使うものだから，見慣れているもの」

違うよ，これと前のものとの違いを聞いているんだよ．

ANS ―――――――― 「エンブレムは，西洋人にとっては見慣れない珍奇なものだけれど，聖杯は毎週ミサの時に使用する見慣れたもの」

ベリー・グッド，　もうひとつぐらい何か違いを言ってください．

ANS ―――――――― 「素材が豪華だということで，ある意味で権威的．エンブレムよりも上から下への権力を示すようなもの」

〔価値観とは〕　私たちの中には，西洋の価値観がもう入ってしまっているかもしれない．たとえば，血と精液よりももっと価値のあるものをもう考えらない．金や宝石をとりだして売ったらお金になるよね．エクペの素材を売ろうと思っても，できないデショ．だから，西洋の価値観というものは，精神的なものでも，換金できるかどうかを土台において考えている部分がある．　金や宝石でできていることは，同時に神に対する崇拝の念を表している．
　でも，これ美しいって皆賛成する？

ANS ―――――――― 「イエス」

これはルーブルにあるんですが，もしこれと同じようなものがルーブルではなくて，たとえばダイエーのカウンターに９ドル99とか書いてたくさん並んでいたらどう？
　これが何か，気付くかどうか，そして私たちはこれを美しいとおもうだろうか？　本当のことを言って下さい．

ANS ―――――――― 「イミテーションと思うんじゃないの」

でもこれは，何か重要なイミテーションだなんて，立ち止まって考えるでしょうか？　何か趣味の悪いものと思うかもしれないよ？

ANS ―――――――― 「スーパーで売っているんだったら，価値を感じないけど，美術館に飾ってあるんだったらこれは名品だろうって先入観があると思う」

そのとうりね．

〔価値観は状況による〕

私がここで言いたかったことは，これが美しいんじゃないかって考えさせる価値観を認めさせるような，そういう状況を作り上げているという，その違いを言いたかったの．そうじゃないと見過ごしてしまうようなものでもね．

コーヒー・ブレークにしますが，その間に考えといて下さい．私がいま話したアートとは何かをもう一度考えてみて下さい．

……休　憩……

いま私たちが聞いていることは，とても重要なことです．そして私たちだけじゃなくて，一般の人たちにとっても，重要で意味のあることだと思います．私たちと一般の鑑賞者との出会いみたいなところ，どこで出会うか？ということで．

〔鑑賞者の興味を考える〕

美術の教育をしている人とか，レクチュアーしている先生とか考えれば，私たちが興味あることを一般の人たちも興味があるだろうと思っている．あの先生が話しをしてくれているからウンウンって聞くんじゃなくてネ．自分たちにとっても聞いている人にとっても興味があって，重要なことを話ししなくてはいけない．

アメリア自身興味があること，このグラスの部分には，３世紀のローマングラスが使われています．そのこと自身興味がある．３世紀に作られたガラスは別に，キリスト教のために作られたんじゃない．異教徒のものだった．それをキリスト教にとって重要なシンボリックなものとして作り上げたというそのこと自体に興味がある．でもそのことは，一般の人は興味があるかどうかは分からない．

＜ピカソ＞

では今度は，ピカソの作品で話していきましょう．あまり時間もないので，終わらせたいので，急いで考えてみて下さい．コーヒー・ブレークの前まで話したことを頭において，これについて話したいと思います．

これは何か？見たまま話して下さい．

ANS ―――――― 「ハンドルとサドル」

ＯＫ，アーティストはそれをどうしたの？

ANS ―――――― 「別々なものをくっつけた」

ハンドルとサドルをくっつけただけ？　なにか怠け者みたいね．一般の人は言うよね．「私だってできるよ，そんなことぐらい，アーティストはそれらを作らなかったの？しかも古い錆びたものだし．これ何がいいの？」

ANS ―――――― 「ハンドルとサドルを使って違うものを表している」

そうそう，美術の世界で仕事している人たちを，何それッテ思っている人たちに向かって「ハンドルとサドルを使って違うものを表している」そう言ったってあまり意味をなさない．

ＯＫ，何がこれいいの？　エクペのエンブレムにはもっといろんなものが入ってたじゃない．これは２つだけ（笑）

ANS ―――――― 「シンプルな素材で形を表している」

ＯＫ，エコノミーね（笑）安いものを使っているね．

ANS ―――――― 「組合せかたによって，牛の形にみえる」

そうね本当ね，でも，たいくつな授業なんかに出てる時，手持ち無沙汰になった時にネ影を見て，何かに見えるナとか，違うものを想像することもできるよね，私たちだってピカソにもし質問できたら，私だってそれ出来るよピカソさん．そう言ったらピカソは何と言うと思う？　自分がピカソだとしたら．

ANS ―――――― 「どんどんやれよ」

イエス，そのとうりピカソはそう言うでしょう．じゃあやってごらんよ．してみせてよ．どこにあるの．　なんでピカソがピカソたるかと言えば，それは，私たちが毎日日常にどんなことをしているかということをもう一度私たちに考えさせる．

さっき言ったように，私たちは，モノをそのモノ以外のものとして見ている．つまりこれをハンドルとサドルだとして見ていないね．それがアートだってさっき言いました．ハンドルとサドルをまるで牛だなあって見てる．ティティアーノもそう．実際はキャンバスとペイントだけれど，ビーナスだって見てる．これもそう．ピカソの考えるアートとは，彼の才能のひとつは，物や自分の周囲を見て，サドルをサドルとして見ない．そのものとして見ない．それはピカソのタレントだと思う．

アーティストというものは，関連のないものを見て，その中に関連を見つけようとする．新しい関連性というものを作り上げようとする．もうちょっと広げて，ピカソは，とても牛に興味があった．スペイン人だったし，闘牛はスペインではとても重要なものですから．闘牛はスペインでは，紀元前12世紀ごろまで遡ることができるという。そのころから伝えられている神話にピカソは興味を持った．ミノス王が牛を生贄にするという伝説があるんです．あまり美しい牛だったので生贄にしないで，自分のためにとっておいた．そのために牛がミノス王の奥さんを誘惑した．それでミノス王のお妃が怪獣を身ごもった．それがミノトール．それで頭は牛，からだは人間で表される．迷路の中にミノトールは囲われていて，そこから逃げられないようにされている．なぜかといえば，すごく暴力を奮うから．ミノトールは，ある意味で象徴である．私たち人間の心の中にある半分獣のような精神の象徴である．

ハンドルで使っているものは，私たちのインタレクチュアルな部分ですよね．シートの部分はある意味で，もっとセクシュアルな部分ですよね．ハンドルとサドルとをくっつけただけで何か新しいものを作っただけでなくて，その過去というものと関連性をつけた．分かりますか？

今度は，３つの神話について考えてもらいたいと思います．

〔西洋人にとってアートとは何か〕

アートについて私たちが考えてきたことは，基本的には，西洋のアートの価値観だと思います．ギリシャの時代からの３つの神話について考えてもらいたいと思います．それらを考えることによって，西洋の人たちにとって，アートとは何であるかを考えてみたいと思います．

科学とか哲学とかいうのが発達する前に，人々が世界や社会を考えるために用いたものは神話です．これは，19世紀のアカデミック・ペインチング．ゴッホと同時代の作品です．これは当時一般の人々にとってポピュラーだったんですが，そのことを知れば，ゴッホの絵がいかにポピュラーじゃないかということが分かってもらえると思う．ソウデショ．

＜ピグマリオン＞

これは古い神話をあらわしています．こんな神話です．

ピグマリオンという美術家がいました．女性をすごく嫌いだった．彼の住んでいた王国では，女性はすごく悪魔的だった．それで彼は，ビーナスの彫刻を作り，それを飾って，それを見た女性が，悪魔的でなくなるようにと願って．すごく長い間かかってこの彫刻を作りました．ビーナス自身がオリンポスの宮殿から，この彫刻を見て，すごく好きになったわけ．オリンポスの宮殿から降りてきて，ピグマリオンに言った．「アンタすごい芸術家ヤネ，すばらしいもの作ったから，あなたの願い事をひとつだけかなえてあげます」

ピグマリオンは何て言ったと思う？

ANS ―――――――― 「彫像を人間にして」

そう，ビーナスはそうした．美しいその彫刻が本物の女になった．ギリシャ・ローマ時

代の人たちは，このメタフォの中に何をみたんでしょう？

ANS ―――――――― 「美とは美しいもの」

ベリー・グッド，他には？

ANS ―――――――― 「すばらしい芸術は生命を得ることができる」

イエス，すばらし芸術は現実の生活に匹敵する．他には？

じゃあ，性についてはどうでしょう？ピグマリオン自身は，この女性に恋したわけ．肉体的にも恋したわけでしょ．だって自分の作った女を本物の女にしてくれって言ったわけでしょ．アートは現実よりもすばらしいもの，生きてる女よりもすばらしい女をアートで作った．まずネ．

<コームシャン>　これも同じような神話です．18世紀に作られた作品ですけれど，古い神話にもとづいています．若い女性が男に恋をした．その男は戦争に出掛けなければいけなかった．経験もあまりない若い男性が戦争にいく．すごく激しい戦いだった．彼が死ぬ可能性は高い．２人は一晩一緒に過ごした．一晩中起きていた．メーキング・ラブした．２人でベッドを共にした後．どの男もするように，男は寝てしまった，そうでしょ（笑）

彼女はひとりで起きていた．寂しかったし．あす彼は死ぬかもしれないから．だから彼女は寝ている男の影を線でたどった．それをすることでアートをつくった．それが神話です．

これと前のジェロームのビーナスとすごく共通性があります．もちろんすごく面白い違いもある．この２つの作品の共通性は，愛と欲望．じゃ違いは何でしょう？

ANS ―――――――― 「ジェロームの作品のほうは，彫像を実物の人間に変えてしまったけれども，こちらは実物の人間をアートに変えてしまった」

ベリー・グッド，いいところを言ったね．他には？　神話によると，彼女がアートを作った人だと言われている．

ANS ―――――――― 「現実を写しとるもの」

影だけだよ，なにもできないよ影とは．この伝説によると，アートというのは，現実の影だ．リアリティと何かの関連性はあるが，リアリティではない．伝説によると，これが世界で作られた初めてのアートだとされている．この作品にタイトルを与えるなら，どんなタイトルにする？

ANS ―――――――― 「情熱の証し」

コンセプチュアルね．グッド，ＯＫ．他は？

ANS ―――――――― 「戦いに行く直前の若い兵士」

ＯＫ，物語的なタイトルね．

ANS ―――――――― 「ラブ」

ＯＫ，寓話的ね．愛を見えないね．でも，２人を愛のシンボルとして見ているから，そういう意味では寓話的ね．他には？

ANS ―――――――― 「メモリー」

良いタイトルね，文学的ね．でも，彼女がこれを描いてる時，それはメモリーじゃないそこに実際いたんだから，彼女が出ていった後にはじめてメモリーになるよね．

ANS ―――――――― 「クリエーション」

ザッツ・ベター，他には？

ANS ―――――――― 「エターニティー」

永遠じゃないでしょうね．長いことは残るだろうけれど．ＯＫ．

暖炉から，炭を持ってきて描いたんだって．この絵ではそうなってないけれど．

今，皆さんにやってもらった作業というのは，長いことキュレーターたちがやってきたことです．だって昔の作品にはアーティストはタイトルをつけなかったんだから．それにタイトルをつけようとしてきたわけです，キュレーターたちは．

〔題名は誰が付けたのか〕

いま，皆さんから聞いたタイトルを聞いてネ，皆さんそれぞれが．キュレーター，美術史家としてネ，どういう考えを持っているかが良く分かったと思うんです．

考えて下さい．ほとんどの作品のタイトルは，作家がつけたんじゃなくて，長い歴史の中で，キュレーターとか作家以外の人がつけたタイトル．ということは，ＭＯＭＡの「ベトナム」というタイトルと，「ホンコン1970」というのとで違ってくる．つまり，逆にいうと，タイトルをつけることで，別の作品を作り上げることも可能だということ．たとえば，これは，「若者の肖像」というタイトルを付けたら「愛の影」というタイトルを付けたら，この作品の意味が違ってくる．

一番はじめのアーティストのことを話しました．次にタイトルをつけるキュレーターの話しをした．その次に．鑑賞者のことについてお話しましょう．

じゃあ，この女性のめしつかいのことを考えてみましょう．召使が次の日に来て掃除をする．壁に描かれた線を見る．このメイドは，この線がこの女性によって描かれたことを知っているでしょうか？　誰かが落書きしたと思うかもしれない．影をたどっただけだから，すごいアブストラクトで，見ただけで，これはあの男だと分からないかもしれない．メイドは描いてあること自体を気付かないかもしれない．メイドがこの前を通って気付かなかったら，これはアートかしら？

ANS ―――――――― 「メイドにとっては意味が無いかもしれないけれど，描いた人にとっては意味がある」

描いた人以外，たとえばメイドが，描かれた線の意味を分かっていたら，それはアートだと．アートというのは，描いた人にとってアートではない．アートというには，その線に気付いた最初の人にとってアートになる．

だからこそ，エクペ族の人たちが，アートと思おうが思うまいが，私たちがそれを見て，アートだというカテゴリーに入れる．

ANS ―――――― 「他の人が線に気付いても，これがアートだとは思わなかった時でもアートなの？」

もちろんそう思います．気付いて，何なんだと思った．ナンヤコレはアホみたいな線やな，コンナン私でも出来るヤンと思ったとしても，それはいいアートじゃないなアと思ったでしょう．でも，それはアートでしょう，いやアートじゃないと思ったんだから．

ANS ―――――― 「それが無かったら，出てこなかったような考えを与えたから？

そう．

〔見る者と作品の間のアート性〕

なぜ，このプラクティスをやっているかというと，何世紀にもわたって，アートの定義とは何かと，作品自体から得られた何かで，アートの定義をしようとしている．でも鑑賞者とその作品の関係についてからアートについて定義しようとは成されてこなかった．だからあえてこのことをここで問題にしたわけです．

私たちは，アートをみてそのクオリティとか，作家の意図とか，美しさとか，普遍的な価値などをアートの中に見つけようとする．でも，そんなもの存在しない．すごく価値が認められたアートが，時代を経ると，ある時に何の価値もなくなる．その逆のこともある．私たちに価値があるものでも，同時代の別の文化の人たちにとっては，何の価値もないかもしれない．普遍的なもので，アートを見ようと，私たちは習慣づけられているけれども，そうではないと思う．何が大切かといえば，作品が大切なのではなく，私たち鑑賞者が作品を通して，何か得る，その関係ということが大切なんです．

今度が最後のスライドネ．

＜ナルシス＞

これはアートに関する神話ではないんだけど，ある意味でアートに関する神話だとみることも可能です．

ナルシスの神話です．

美少年がいた．ニンフが恋をしている．その中でも，特にエコーという妖精がナルシスを追い掛け廻している．必死で追い掛け廻して誘惑しようとしている．森の中でナルシスは迷ってしまった．のどが乾いた．池の水を飲もうとした．水面に移っている自分を見た．それで気がついた．すごく美しいって．なぜエコーが彼を追い掛け廻しているか，愛したかが分かった．ナルシスはずっと水面の自分を見つめ続けていた．寝食を忘れて．だからちょっとハイになったネ．ここに移っているのは自分自身だと，最初は分かっていたけれども，そういう状態におかれて，だんだん自分自身が分からなくなってきた．幻想が出てくる．

エコーというのは，神様に罰せられていて，自分の言葉でしょべれないという罰をあ

たえられていた．それでエコーが言える言葉というのは，だれかがしゃべった最後の言葉をリピートできる．それがエコーがしゃべれる言葉だったの．ナルシスは幻想の中にこもって，寝食を忘れて，自分に恋してしまった．水の中に映っている少年に向かってアイラブユーって言った．エコーはそれしか言えないから，エコーはアイラブユーって言った．幻想の中にいてるナルシスは，自分がアイラブユーって言うと，耳元でアイラブユーって聞こえる．それはこの水に映っている人物が自分に向かってアイラブユーって言ったと思っている．その影をつかもうとして溺れ死んだ．ナルシスを探しにきた人たちが，ナルシスを見つけられなくて，池の中にナルシスの花（水仙）が咲いていた．

ある一部の人は，これはアートの神話だと思っている人もいる．私はその一部です．これをアートの神話だと仮定するならば，どんなことを言っているかを考えて欲しい．古代ギリシャで，師が生徒に教える時には，こういう神話を言って，じゃあこの神話は何を言っているんだろうと，オリーブの樹の下で言う．それが学校だった．それと同じようにしたい．じゃこの神話は何を言っているんでしょう．

ANS ―――――――― 「アートは美を反映する」

OK，他に？

ANS ―――――――― 「アートは現実の反映である」

イエス．もしそれの答えが出てくるんだったら前に見せたスライドとの関連性は分かりますよね．他には？

ANS ―――――――― 「アートは自分自身の反映である」

ベリー・グッド

美しいって言われているし，そうかも知れないけれど，私たちはナルシスがどれだけ美しかったかを知らない．一回も自分の顔を見たことが無い人が，初めて何かに写っているのを見たときに，それで恋したかもしれない．そういう意味では，美しいというイメージがユニークだったのかもしれない．彼にとっては初めての体験．驚くような体験だった．美しいということももちろんでしょうけれども，その驚くような体験，ユニークさも大切だと思う．他にはない？

ANS ―――――――― 「疑似体験」

ある意味ではトリックみたいなもんです．OK，誰が誰にトリックをシュミレーションしたんでしょう．シュミレーションする人がいてるわけでしょ．

ANS ―――――――― 「エコーかな？」

インタレスティング！（爆笑）

エコー．アイラブジス．エコーがアートを発明したって！　イエス．エコーがキュレー

ターだったって．エコーがこれはアートやって叫んだから，ナルシスがそれを信じた．信じたから，それをつかもうとまでした．

最初は水面に映っているのは自分自身の反映やったわけですよね．それで，ファンタジーだったわけね．彼にとっては．でも，自分がアイラブユーっていった言葉でエコーがアイラブユーって言ったからそれをアイラブユーって聞こえたから，アイラブユーがファンタジーの中で現実になったわけ，その愛が．

これ，すごく面白い神話だと思います．ニューヨークにいてる間ずっと考えていて下さい．考えれば考えるほど，もっともっとアートについての洞察がひらめいてくるでしょう．

私はこの絵について，いろんなところで話したり，書いたりしてきたけど，エコーがアートを作った人やって考えたことなかった．すごく面白い．でも，もっともっといっぱい考えることがある．これで終わりっていうことはない．その作品をいつもいつも頭に浮かべて，アートって何なんだろうと考え続けてほしい．これは，アーティストだけに関する神話なのかしら．何に関しての神話なんだろう．何かを見るということは．

ANS ―――――――― 「ナルシスは自分に対して言ったんだから，信じることが大切ってことかな？」

イエス，ベリーマッチ・ソウ．　アートっていうのは．本当に信じることに関連があると思います．ポピュラー・アートとしての映画を見てる時にネ，スクリーンに本当のものはないけれど，見て泣くでしょ．笑い，悲しみ，心配し，怒るでしょ．ナルシスにおこったことと同じことが私たちとアートとの間で起こっている．ナルシスは，自分自身に，水に映るイメージが現実だという幻想を自分にもたせることを許容したわけ．アートっていうのは，自分がなにか作品を見たときに，なにか意味するんだって自分が信じること．アートってのはそういうものよ．それなしにアートっていうのは存在しない．

〔見る人が信じること〕

ナルシスは，水に映った自分を影とは見ていない．別なものとしてそこに見ている．そこにアートというのは存在している．この神話は，だからこそアートを作るということの神話ではなくて，見ること，見る者，鑑賞者に関する神話だと思います．誰かがこれはアートじゃないよって言うときに，その人にとっては，水面に映っているものがない時です．反映しているものが無いときです．暗かったとか，見なかったとか，ＯＫ．現実的すぎて自分自身をそれと関係づけることをしなかったとか．小さい時にＴＶや映画を見て，本当に起こったことだと思ってしまった経験ってあるでしょう．これが現実でないはずがないと思ったことがあるでしょう．これは極端なナルシストの一例ではあるんですけれど，反対側の極端な例をいえば，ＴＶも映画を見ても，ドラマやんカ，現実と違うやんカ，と思ってしまう．メタフォーですよ．同じ水でも，そこにアートが存在する時としない場合がある．それは鑑賞者次第．

次の授業は，特に鑑賞者とアートに関してお話します．教育というのが，その水面に映った影とその前をとおる人の間をどういう風に関係を持たせるかについてね．

「テイーチング・テクニック」

12/02.　9:00 ～12:00

前回の話しの続きをしたいと思います．アーティストの役割が，過去と現在において，西洋の美術界において変わって来たということについて．美術史の中においてということは，私たちがアートをどういう風にとらえるかということに関連してきます．

今日は，一般の人たちが，美術館に来たときにアートとは何か，アーティストはいったい何をしようとしたのか，についてお話したいと思います．特定の美術作品についてを題材にして教えるということについてもお話ししたいと思います．フィリップがお話したことに関連させて．

１５年前に，こういう調査があったんです．　世界中の評論家とかアーティストに，どの作品が一番，美術史界で重要だと思いますかっていう調査をしました．多くの人たちがこれだって〔ベラスケス〕指摘しました．

まず初めに４つの作品を見てもらいましょう．作家の自画像が含まれた作品です．作品を見て，アーティストのどんなことを言っているのかを考えてもらいたいんです．

＜ベラスケス＞　ベラスケスのラス・メニーナスについて見ましょう．ラス・メニーナスってのは，古いスペイン語で，少女，若い女性って意味です．この作品，作家はどんなことを物語っているでしょう．どこに作家がいるのかわかりますか？　分からない人言ってね．

FUKU ―――――――― 本当に言ってね，彼女は分からないのね．

大きいキャンバスの後ろに立っているのがそうね．彼は，自分自身と制作中のキャンバスだけじゃなくて，自分をとりまくいろんな状況を描いています．これ見て何にみえますか？作家が自画像を描く時には，自分がどういう人間，何を考えているかをある意味では表すような自画像を描くと思うんです．

ベラスケスが自分自身を物語っている部分があるんだから，ベラスケスのどんなことを，視覚情報として，見た内容から，ベラスケスってこんな人じゃないのかなってことを言ってください．

ANS ―――――――― 「宮廷画家だった」

イエス，そうですね．なぜそう思った？

ANS ―――――――― 「中央に王女がいて．．」

ベリーグッド，他には？

ANS ―――――――― 「人間を冷たく観察している人っていう気がする」

ベリーナイス．もっと自分を真ん中に入れて，明るい色を使って，仲間として描くことも出来ただろうけど，暗いはしっこに，自分を描いて，少し離れたっていうイメージがここから出ていますよね．他には？　ここには何を描いていると思いますか？

ANS ―――――――― 「王と王妃」

どうして分かった？

ANS ―――――――― 「鏡に映っているから」

ここには，フィリップ4世と妃であるマリアナ王女が映っている．しかし，ベラスケスの作品の中でも，こんなに大きな作品で，王と王妃が描かれているような作品はありません．ある人は，これをここの状況に描いたという人もいます．王様とかじゃなくてね．どんなふうにしてそれができるんでしょう．ベラスケスが描いているのは，王と王妃じゃなくて，私たちが見ているそのものを描いているという説明もあります．そう思いますか？　それが正しいとするならば，ここにいてるベラスケスがどうして私たちが見てるこれを描けるんですか？この王と王妃を描いているんじゃなくて，私たちが見ている情景をこのキャンバスに描いているという説もあるんです．

ANS ―――――――― 「こちら側に大きな鏡がある」

ベリーグッド．これほどリアリスティクに描くためには，頭の中だけで考えたんじゃなくて，ある意味で，大きい鏡がここにあって，それを見ながら描いているかもしれない．しかし，ここに鏡を置いて，２人の顔をここに描くということ．この状況をどういう風に変化させているんでしょう．実際にこの中に鏡を描いたという事自体．

ANS ―――――――― 「描かれている王妃と王様から見た光景，見ろ者も見られるものとを逆転させている」

ベリーグッド．　こちらに鏡があるなら．．．上から部屋を見ていると考えましょう．画家がここにいます．キャンバス，人物，ドア，これ全体を描くために，ここに鏡があって映っているものを描いている．ということは，ここに王と王妃を写すということは不可能ですよえね．とても面白い絵だと思います．ものすごくリアリスティックな作品なのに，時間ということもかんじるし，そのためにポーズをとっているというイメージも感じないし，１７世紀の当時の人々が見たら，きちっと構成されていない，グチャグチャしている作品だと思うかもしれない．なぜかというと，すごく自然だから．

自然に見えるのに，不可能なことが描かれている．そういう風に考えていけば，この作品は，ベラスケスのことについていくつかのことを物語っている．まず，宮廷画家であることを物語っているネ．しかも重要な宮廷画家である感じをうける．彼が仕事中を，他の宮廷の人々が見にくる程の宮廷画家なの．　１７世紀の作品の中で，誰も王様と

王妃よりも大きい犬なんて描いた人はいない（笑）　つまり，こういうふうなことを出来るぐらいの宮廷画家だったということを物語っていたと思います．赤い十字架のある服を着ています．スペインでこういう赤い十字架を服につけているということは，最高の貴族階級にあることを物語っています．しかも自分自身が描いているアクションをして描いていない．考えている姿．つまり，画家というよりは，インテリとしての自分をもっとここに表していると思う．彼は描いていない．

伝統的な美術の解釈において，この絵はものすごく理解しにくい絵だと思う．たとえば，この絵は，いったい何について描かれたことなの？って質問をしたとしたら，１７世紀に一番重要なのは，マリアが中心にあって，その中心にあるものが重要で，横の人よりも重要だということは，作品を見ただけでわかる．これは聖者，これはバージンッメアリー，順番があるのね，この人たちはお金をあげる．これが１７世紀の美術作品の基本だったわけです．

このベラスケスの作品の中で，一番大きいのは犬だから，犬が重要で，犬についてえがかれているわけないよね．起きてヘンやんか，寝てる犬なんて．彼女が中心にいるから彼女が一番重要なのかしら．じゃあ，彼女を描くためにこの作品が作られたとしたらどうしてこんなにいっぱいの人がいるんだろう？もし彼女が本当に重要なら，周りにこんなに一杯ゴチャゴチャしていて，私たちの目を彼女に集中させないで，分散させられてしまうね．もし，王と王妃が重要だったら，こんなにあいまいな鏡の中だから，重要じゃないように見える．この作品はいったい何について描かれたことなんでしょうね？

ANS ―――――――― 「こっちにいる王と妃の見た場面を描いたことで，王の重要な世界を描いたと思う」

ＯＫ，それも可能性の一つにあるでしょうね．こういうアーティストのことを想像してみてください．技術をもって何かしているというよりは，社会における関係を考えている．そういうアーティスト．つまり描いているんじゃなくて，見てて考えている．そういうアーティスト．

＜ゴッホ＞　ゴッホのこの自画像とベラスケスの自画像を較べてみてください．これを見て，アーティストについて何を学べますか？この作品から．最初見て，頭に浮かんだことをどんどん言ってくれればいい．

ANS ―――――――― 「悩んでいる」

なぜそう思う？

ANS ―――――――― 「みけんのシワ」

ＯＫ，もっと他には？

ANS ―――――――― 「内に秘めてる情熱みたいなのが隠しきれずに表されている」

ベリーグッド．社会的に見たらどう？作家というより，社会からみて，生活者としてのゴッホについては？ベラスケスの場合は分かったよね．状況においてどういう人であったのか．ゴッホの場合は．

ANS ―――――――― 「洋服もヨレているから生活が苦しかったように見える」

この作品だけを見てわかるアーティストについての情報を何か考えてみてください．たとえばシャツね１９世紀は襟にカラーをつけてるわけですね．それにネクタイつけてコート着てるのがあたりまえで，カラーなしで人前に現れるということはない．でもそういう状況で自分を描いている．奥さんの前ではそういうかっこうしているかもしれないけど，こんなにインフォーマルなかっこうで描かれた自画像というものはその時代にはなかった．ＯＫ，ベラスケスと較べて，私たちがわからないことがあるでしょう．

ANS ―――――――― 「ベラスケスは画家として画面にあらわれているけれど，そして私たちは，ゴッホを画家として知っているけど，知らなかったら，必ずしも，画家が自分の姿を描いたとは思えないかもしれない」

イグザクトリー．自画像ということも，画家ということも分からないよね．パレットもイーゼルもない，何もない．　でもゴッホもベラスケスもすごく集中して何かを見つめている．しかし，そこに何か違いがあると思う．

ANS ―――――――― 「ベラスケスは自分をとりまく環境に注目していたけど，ゴッホの場合は，自分自身に注目してると思う」

なんでそう思うの？

ANS ―――――――― 「まわりに何も描かれていないし，自分とバックだけがあるから

ＯＫ，ベリーグッド．たぶん鏡に映ったじぶんを集中して見てるんだと思う．でももし鏡がなかったら．彼が集中して見ているのは私たち．社会と作家とのインタレクチュアルな関係が，ベラスケスの場合は，出てると思うね．ゴッホはもっと社会と心理的な関係ね．この作品で，自分以外に描いたものは，バックグラウンドね．バックはこの絵においてどういう意味を持っているんでしょうか？

ANS ―――――――― 「バックは平面で一色ぐらいで描かれるものだと思うけれども，これは渦巻き状になっていて，自分との関係が複雑で何か混乱していることを表しているんじゃないのかな」

じゃ，この背景ね，壁紙みたいに見えますか？　それとも自分で意図的にこう描いたんだろうか？

ANS ―――――――― 「壁紙みたいには見えない，抽象絵画みたいに自分の感覚で描いたと思う」

なぜ，そう思う？　あってると思うよ，でもなぜそう思ったの？もしミュージアム・レクチユアーしていてね，誰かが，なんでそんなん言うの，どこからそれが分かるの？なんでそう思うの？　何の感情描いているの？って，それ，どういう意味？そういう風に質問された時，それはねって，どういう風に答えるの？

ANS ―――――――― 「背景は，色やトーンが統一されているでしょ．顔や目の周り以外が抽象的だから」

ベリーグッド．　色もパターンも，外も内も同じような感じね．一種のメタフォーのように，自分の内側から出ている何かを感じるね．燃える氷，冷たい炎，そういうような気がするね．ゴッホは肖像画において，背景というのは，一番重要な要素だって言っている．顔や洋服など，その人を表すものよりも，バックがその人自身を物語ると言っている．

ANS ―――――――― 「ベラスケスの場合は，一定の人に見てもらおうとしている．自分の置かれた状況を分かりやすく訴えようとしているけれどもゴッホの方は，もっと哲学的というか，万人に共通な感情を訴えているような気がする」

ＯＫ，ゴッホは情報を削除すること，何もないということでね，そのことでもっと一歩見ている人に近づいている．

＜ピカソ＞　これは，ピカソの自画像です．ヨー・ピカソ．ヨーってのは，Ｉ（私）．この作品から見られるピカソのイメージとか何か情報とか言ってください．

ANS ―――――――― 「左側の部分がパレットに見える．それから，白い上着を着ている，赤いタイを付けているから，画家に見える」

ＯＫ，画家としてのピカソがここにいるね．ベリーグッド．他には？

ANS ―――――――― 「白いシャツに黄色とかが付いていて，何か気性が激しい」

ベリーグッド，　自画像は，描いた人，自分自身が見る人，あなたたちに紹介していること．自分自身についてウソついてるかもしれないよ．でも誰でもウソをつくよね．パーティなんかに行って，ある意味で，こういう風に自分を見てほしいと思うような態度

をとるでしょ．肉体のひとつの舞台である．そういう意味で，彼のボディランゲジは何を言っているんだろう？　Ｙｅｕ

ANS ―――――――― 「親しみやすい」

親しみやすい？　ハーイ，オッチャンって感じがする？　これ見て？（笑）
ピカソの偉大さは忘れてネ，この絵の人がここにいて，ハーイ，オッチャンって感じがする？

ANS ―――――――― 「画家としての自負心が出ている」

イエス，背中を丸くしていないわね．背筋をシャンとして立ってるね．目は，入って来た人を見ているね．仕事の途中に，ジャマしてるのか，とでも言いたげに．自画像だから，もちろん鏡見てるネ．でも，私たちは鏡を見てないからね．ちょっとこわい感じがするネ．この作品見て，この人は自身があるように見えますか？

ANS ―――――――― 「イエス」

ボデイランゲジから，それ分かりますよね．闘牛師みたいな．　でもそれだけじゃなくて，何か別なことがある．他に何があるんだろう？

ANS ―――――――― 「バックを見てると，黒一色で，しかもゴッホが自分の内面を描いているのに対して，もっと自分の存在を描いている」

イエス，コントラスト，ベリーグッド．他には？　タッチに注目してください．タッチは自筆，ハンドライチングみたいなものだから．日本人として自分を表すこと．書道としては（サインの例示）．違うでしょ．こっちはかわいい，こっちは力強い．この絵のタッチから，どんなことが分かります？

ANS ―――――――― 「激しい気性．顔の中心はカッチリしているけれど，周囲に向かて出ていく激しさを感じる」

イエス．タイトルもそうですよね．ヨー．ピカソ＝私，ピカソ　そのタイトル自身，そのことを物語っている．黒．白．赤のコントラスト．コンポジション，黒いバックに人物が強いコントラストで置かれている．男性的で，強いタッチで，タイトルからもそういうことが分かる．これを見ていくつだと思いますか？この人．

ANS ―――――――― 「２０代前半か若い男性」

これピカソ２０才の時ね．　でも，２０才の青年というように描いていないね．でも，

一般の人にネ，いくつぐらいに見えると聞くと，普通の人は４０才ぐらいとか言うよ．なぜかというと，ボデイランゲジ，若い人は顔の輪郭がスムースでしょ．　この絵ではホホがこけてて，分かるでしょ．ピカソがこれを描いた時は，若い青年で，自分自身において本当は自信が無かった時だよ．その自分の自信の無さをある意味で隠すため，補うために，彼はこういうポーズをとっている．パレットの中のペイントは，こういう風になっている．同じようなタッチで洋服も描いている．作家はこのパレットの絵の具で自分を描いているわけですよ．作品を作っている．ここの絵の具と自分自身は同じ．つまり，自分は自分を作ったということにもなる．自分を作ったのは自分だとネ．

アーティスト自身が，インテリの王子さまというような，権力があって，社会的にも高い位置にあって，静かだけれども社会をじっと観察しているというそういう画家．

ゴッホは，シンボルも，私たちに与える情報も無いような，まるで自分自身を裸にして見せたような，感情とか，心理的な，そういう自分をとりまく，そういった何かと関連づけながら自分を描いている．悲惨な生涯を終えたことを私たちは知っているし．その後で，社会は彼をモダンアートの聖者として作りあげたその作家．

自分の耳を絶対に切ったりしないアーティストがここにいる．（笑）

負けるというよりも，自分が征服するんだというタイプのアーティストがここにいる．文化の闘牛士でありたいと思っているような，男性的で若くて攻撃的な，社会の習慣とかに反対する，ラフで．　ＯＫ？

＜ハートフィールド＞　つぎ，これ，1929年　ジョン・ハートフィールド．1920～30年代ドイツで新聞でいろいろな仕事をした人です．どっちがアーティストかって思った？　絶対こっちがアーティストだって思った？　ＯＫ．どういう風に，これ作られたと思う？技法は？

ANS ――――――――「写真」

ベリーグッド．写真だけ？　他には？　どうやって作ってあるの？

ANS ――――――――「合成写真」

ＯＫ．　どれがアーティスト？

ANS ――――――――「オッチャンの方」（笑）

たとえば，ふたつの写真を一つにして作られたもの．のりで付けてね．そういう作業をする人はだれ？　アーティスト自身でしょ．ベラスケスは手に何を持っていた？

ANS ――――――――「筆」

ピカソは？

ANS ――――――――「パレット」

この人は？

ANS ――――――――「はさみ」

じゃどちらがアーティスト？

彼がいまいってくれたことは大事なことね．姉さんがインテリだから弟もインテリのはずや．と私たちが美術館で授業したり，パンフレットを書いて，その人が読む．普通の人よりももっと上かも知れない．その人でも「え？」と分からなかった．そのこと自体

が教える側としては，分かってるもんヤと思って進めてしまう．そこにやはり問題がある．　ここで一体何が起こっている？　誰か言って．

ANS ―――――――― 「本当には首を切れないから，写真で切った」

ＯＫ，あってるよ．現実で人を殺す代わりに，何を殺している？

ANS ―――――――― 「彼の存在とか地位を殺している」

ＯＫ，ベリーグッド．　これ，誰かな？

ANS ―――――――― 「だれだか分からないけれど，社会的に地位のある人」

ＯＫ，なんでそう思った？

ANS ―――――――― 「服装がきちっとしてること，アーティストが新聞の仕事をしていると，先に聞いてしまったので，本当は社会的なことで彼が批判したくても，実際には彼自身が手を加えることはできないけれども，写真とか，イラストを操作することで，彼は自分の考えを社会的に提訴した」

ＯＫ，ベリーグッド

ハゲてて，太ってて，歳いってて，テカテカっしてる人で，赤鼻のオッサン，にゅるっとした感じで，たぶん汚職とかで堕落していて．ＯＫ．それはホンマかどうか知らないよ．　一種のタイプみたいなのあるよね．それに対して，私たちは反応できる，諷刺画みたいなもの．だから，映画の中で配役決める時に，人をみて，この人やったら，堕落して腐敗した人間に見えるから，ホナ，この人にしよかっていう，私たちの中にそういうコンベンションっていうのか，一定のイメージがるよね．この人から，さっき言ったタイプのイメージが出来ますよね．

ここでアーティストはどういう役割をしているんだろう？どういう役割として自分自身を表現しているんだろう？

ANS ―――――――― 「社会的に地位は無くて，そういう人を代表していて，そして怒っている」

みんなそう思う？　２人の洋服見てください．一番重要な違いは？

ANS ―――――――― 「ハサミを持っている人の方が，襟にシワがよってネクタイが，なんだけれど，切られているおじさんの方は，襟がアイロンプレスされていて，きちんと背広に収められている」

OK，インフォーマルとフォーマルでしょ．ヤングとオールド．怒っているでしょこの人．この人は満足しているようで．この人は何かに目覚めているようで，この人は半分寝ているみたい．

OK，これは新聞にのった．1929年その新聞のキャプションには，「ジョン・ハートフィールドと警視総監」というタイトルがついている．　これから，アーティストについてどんなことを思う？

ANS ―――――――― 「燃えるような怒り」

OK，1929年，ドイツという状況を考えてください．その状況の中でこの作品は発表されたわけ．ナチズムが台頭してきている時期．警察官のほとんどはナチに洗脳されていた状況．　今の状況だってニューヨークの警察署長の頭を切ってるのを新聞に発表してもそれだけでもクレージーやという意味でね．ドイツのその状況の中でそれをやった．

これまで見てきた自画像で，それぞれのアーティストのことを学ぶとか，個々のアーティストのことを知ったということもあるけれど，それ以外にも歴史的にみたアートとかアーティストとは何かということを学ぶことが出来ると思う．

１７世紀ベラスケスは，アートというのはインテリの高貴な人が追求していくものだと言っている．宮廷の中でおこるそうした哲学的なことのひとつの表れ．　アートというのは，精神的な何かを摑もうとする，心理学的なものだと言っているゴッホは，アートというのは，自分自身について描くものとした．それは近代美術の始まりだった．じゃアートって何か．このハート・フィールドの時期には何を言っているんでしょうか？

ANS ―――――――― 「アートは社会の悪を摘発する」

OK，　アートは政治的だ，社会学的に道徳的な何かに訴えかけるもんだ．王や妃の世界にいたベラスケス，ある意味では，権力の複雑性を思わされる．この時期になると，権力にチャレンジするアーティストがここに描かれている．

ここに使われているテクニックを見て，アートについて何か言えますか？

ANS ―――――――― 「ベラスケス，ゴッホは油絵だったけど，ハート・フィールドは写真を使っていて，だから，油絵みたいに自分で全部作ってなくしかも張り合わせている」

OK，つまり，作品を作るためには，残部作らなくてもすでに存在する何かを変えることで，作品を作れるということをここで物語られている．たとえば，新聞にのっていて皆が知っているような写真をとってきて．それを変化させることで，現存する権力にものを言う．それはすごく有効な手段だと思う．

ウオーホル　OK，ラスト．　これはアンディ・ウオーホルのダイエット・コークのＴＶ・ＣＭね．この作品から，ウオーホルが自分について何を物語っていると思う？

<ウオーホル>ANS ―――――――― 「アーティストは崇高なものを作るだけじゃなくて，．一般の人と同じようなところにいるんだということ」

もちろんそうだけれど，ある意味で特権階級にいる．さっきの１７世紀の構図の例を思い出してね．中央にいるのが最も重要だったでしょ．ウオーホルは，中央にいる．コークがあって，あとはカワイコちゃんが周りにいる．ダム・ブロンド（バカなブロンド）に囲まれてるでしょ（笑）．ベラスケスは筆を持っていたでしょ，ピカソはパレット，持ってた，ハート・フィールドはハサミを持ってた，ウオーホルは，カンを持ってる．その違いは何？

ANS ―――――――― 「何かを作る人というよりも，何か表現者というか，そういう位置づけが感じられる」

ＯＫ，ベリーグッド．

ANS ―――――――― 「ウオーホルは，コマーシャリズムを使って自分を表現しようとしてるから，画家が筆を持ってるのとある意味では同じことだと思う」

ベリーグッド．

ウオーホルが，偉大なアーティストだって言う時には，どんなに上手にテクニックを用いてコーラやキャンベル・スープのカンを描いたというのじゃなくって，私たちの中にあるポピュラーナイメージをすくいあげて，それをまた別なものにしようとして使ったというところにウオーホルの価値があるわけですから，そういう意味でそうです．

筆とか持ってないけど，ある意味では彼は自分の何かを象徴している．

今からひとつ，とても重要な質問をします．1989年に私がＴＶに映っているのを撮って，このスライドを作りました．自分の生徒に，ＴＶのこのＣＭを撮ってくれと頼んで作ってもらいました．誰がこれの製作者か？　スライドで撮ろうと思ったアイデアを持った私か？　この写真を撮ってくれた学生か？　それか，ポーズしているウオーホル自身か？　それか，コカ・コーラという会社のこれをやった宣伝会社か？　アメリアによって作られた，アーティストのポートレートなのか？　もしくは，彼女の生徒によって作られたポートレートなのか？　ダイエット・コークの広告にすぎないのか？　もしくはこれはウオーホルのレデイメイドのセルフ・ポートレートなのか？　この前に見せたハート・フィールドの自画像の写真は，自分で撮ってない，誰かに頼んで撮ってもらった．でもそれはポートレートね．　じゃ，いま言ったこと，いったいどれなのか考えて下さい．コーヒー・ブレークにします．

……休　憩……

さっきの質問に答えて下さい．

ANS ―――――――― 「私は，関わった全員だと思う」

ベリーグッド．コラボレーションね．

デュシャンが，白い椅子の上に自転車のワッカを付けて作品を作った時，すでにある物を使って作品を作った．　そういう意味ではアートの伝統にある．　ＴＶに映っていたイメージはレディメイド．　それを私は写真に撮った．しかし，私自身の作品を見てるんじゃなくて，このスライドはＴＶのスクリーンを見ているわけです．私はこれの作者はウオーホルだと思っています．

コカ・コーラの会社から依頼を受けて，そして，彼自身の役割をここで演じて，パフォーマンスアートという意味では，彼がそこに存在するということで，このイメージを作り上げたわけだから，他の誰かがここにいて，カンを持っていても意味としては出来上がらなかった．

ウオーホル自身の作家としてのキャリアを，ここにレディメイドのイメージとして背負って出てきている．それで，広告会社の人に彼自身のためにとって頼んだわけ．　この作品を見せた理由は，アートの定義というものが，いかに複雑で，変化してきていて，しかも，ひとつの定まった答えではない，ということを皆さんに考えてもらいたかったからです．

エクペの紋章を持ってきて，それをメトの中に置いたこと自体，キュレーターがその作品を作ったと言えるのかもしれない．いま，こうやっている授業トいうのは，もちろん，皆さんの教育ということが，どのレベルにいるか，どんな教育を受けて来たかということに関わってくるわけですが，ここではすごく洗練された議論ということを行っているわけですが，でも，この方法というのは，私が一般の人たちにしゃべっている，その方法から持ってきています．方法としては同じだけれども，洗練された議論がここで行われている．

〔方法＝質問すること〕

それはどんな方法かと言うと，質問をして，その答えは一般の人たちが考えて答えるという方法です．もちろんキャプションを書いている時にはそれは出来ないけれども，しかし，キャプションや説明パネルを書いている時には，こういう状況を想定して書くことはできる．何年に作られたとか，そういう情報を最小限に与える．　私は美術史的な情報は少ししか与えていませんよね．で，私がいまやってきた授業のほとんどは，質問して，その質問を自分たちの中で解釈して，自分たちの中で答えを出してくる．　しかもその答えの出し方というのは，私たちが見ているこのイメージから持ってくる．

皆さんが，すでに持っているインフォーメーションというのを私が質問することで，もう一度活動させる．　そういうやり方をやってきたわけです．　このグループでなくて，たとえば，もっと何も知らないグループに対してでも，その人たちが持っているインフォーメーションとか，経験とか，いろんなものがあるわけ．そういったものを引き出すような質問の仕方はあるはずです．　たとえば，この絵を見せた時，イワサキ君から，誰がこれを作ったんだと言う質問があった時に，こんな風に答えたとしますね．

「これは，ハート・フィールドの作品です．彼はドイツ人で，フォト・モンタージュのアーティストです．写真を使って警視総監の首を切っています．警視総監というのはナチで，ハート・フィールドは共産主義者だから，シンボルとして殺すという意味で首を切っているんです」と，ただ説明したら，それで終わっていたかも知れない．

じゃ，いまからやることは，一般的な人たちに，私たちが今までやってきた内容をどうアプライするかということです．

〔ＶＴＣの例〕　ＭＯＭＡでは，ビジュアル・シンキング・カリキュラムというのをやっているのですが，その中で，10才のこどもたちを対象にこの絵を見せました．10才の子どもたちは，この絵についてどういうことを言ったのか，ちょっと考えてもらいたいと思います．

ANS ――――――――「鏡の中の顔の方が大きい」

ベリーグッド，他には？

ANS ――――――――「どこの国の人？」

10才の子どもはそんなことは聞かないよ．

ANS ――――――――「まんがみたい」

ＮＯ．マンガというのは，平面的でアブストラクトでシンプルだから，私たちがミタラマンガと関連づけられるかも知れないけど，アこれはマンガのようだとは言わない．

ANS ――――――――「この女の人は何をしているの？」

子どもたちは，何をしているのか言えるよ．この女の人は〜シテルねって言うよ．

フィリップが発達心理学のレベル１〜５まで言ってくれましたが，理論としてだけ聞いたって左から右へ抜けていく．このレッスンをやれば，そのことが頭に入ってくるから，今しているわけです．

10才の子どもって，どのステージだと思いますか？

ANS ――――――――「ステージ１」

ステージ１ってどんなんだったっけ？

ANS ――――――――「主観的，自分の経験の中の判断しかない．絵に対して判断してなくて，自分を話してしまう」

イグザクトリー．

ステージ１は何ていう名前でした？……ストーリー・テリングね．物語を話そうとする．自分のことについて，この絵を見て話そうとする．　それがステージ１．

じゃあ，10才の実際の子は何て話すんだろう

ANS ――――――――「女の人が座って，鏡をみて，髪の形を整えている」

それはベリーグッド・ストーリーね．しかし，それはステージ１のストーリーじゃない．それはすごく客観的でしょ．ステージ１は主観的なんだよ．

ANS ――――――――「鏡に映っている自分に手を振っている」

南アメリカの10才の子は，友達が窓から顔がみえてて，ハーイって言ってるとこだと

〔ＳＴ①の子ども〕　言ったことはある．　それは，ステージとは関係なくて，それよりも絵の様式にベメズエラの10才の子が慣れていなかったから．　日本の美術に慣れていない子たちは，すごく抽象的な絵ですよね．彼らにとって白い部分は壁か床か明確でない．しかしマンガとある意味では似ているから，アメリカの子どもたちは，この空間を壁という風には見ない．アメリカの子どもたちは，「ボーイフレンドとパーティに行く準備をしてるんだ」と言った．どこにパーテイがあるの？　ボーイフレンドはいないよ．

〔絵の外にジャンプする〕　ステージ１の人は，絵のことを言うけれど，すぐ絵の外にジャンプしてしまうの．絵から始まるけれど，どこかへ行ってしまう．

こんな風に言うんじゃないかナ．と思うことをもっと言って．

ANS ――――――――――「お母さんのお化粧道具を使っている」

でも，子どもはそこにもっとストーリーを作るね．　たとえば「お母さんはお仕事にいっていて，居ないから，お母さんの部屋にしのびこんで，それでお母さんの道具をつかって遊んでいる．でもお母さん返ってくるかもしれな」って，どんどん行っちゃう．

ANS ――――――――――「小鳥がドレスの後ろにいていたずらしている」

ポシブリー．もっと具体的に言う．「子どもは女性のドレスの中で絡まっている」ストーリーは，絵の中にある何かを説明するようなストーリー．　たとえば「ねむたそう，病気かもしれない」，「髪の毛グチャグチャや（笑）ベットに服のまま寝てしまったので，朝早いからグチャグチャや，」「お母さんの服着ている，大きすぎるモン」そういう風に言うね．

私たちは，いまステージ１の状態について話しました．一番ある意味では，美術に対して遠い人たち．まだ理解していない人たちです．こういう反応が出ることは，ステージ１だからということもありますけど，子どもだから，そういう反応がでるということもありますよね．

〔ＳＴ①の大人〕　じゃ，ステージ１の大人はどうでしょう？

ANS ――――――――――「床に座っていて，あまり行儀よくない」

ベリーグッド．　家具がないから貧しいんじゃないのか？　他に？

ANS ――――――――――「おふろ上がり」

ＯＫ，他は？　自分の体験を持ってくるんだよ．絵から始まって．　これは皆さんが習ったことと想像力の問題．　間違っているとかいうことじゃなくって．

ANS ――――――――――「オカンに似てきたなッテ」（笑）

ベリーグッド（笑）

こんなこと言うよ．「ダンナが居ないから，いま恋人が来るところと違うか？」ミス・サイゴンてミュージカルのね，それじゃないかって．　ステージ1に重要なことは，メイビー．たぶん　は無い．たとえば，「この女の人はお母さんに似てるかもしれないな」というようなのは無い．NO・スペキュレーション．推測は無いんだよ．　OK？

たとえば，ひとりの人が，「こうじゃないか？」という，別な人がもっとすてきなストーリを言ったら，最初に言った人は，「そうかもしれないナー」ってすぐ影響されてしまう．　OK？　なぜそういう状態が起こるんでしょう？　なぜかと言えば，ステージ1の人にとって作者は存在しない．NO・アーティスト．もちろんその人たちは，誰かが作ったってことは知ってるのよ．しかし，この絵を考える時に，彼らの思考形態の中には，アーティストの存在というものは入ってこない．分かりますか，その違い．この絵，たとえば一枚の絵を語るときに，この作品はある時期に，どこかでアーティストが作ったということを元に話されるのではなくて，まるでアーティストが，私たちの目の前で作り上げているような，そういう状況の元での，この絵についての話し合いが行われる．　わかります？　考えの中にアーティストということが入ってこない．

〔ST②〕　では，ステージ②について，ほとんどの人たちですけれども．構築するネ．私がいまステージ②の人の役割をします．言います，こうこうこうや，言ったことをもとに，ステージ②っていうのは，こういう特徴があるっていうのを，今度はみんなが考えてください．

「貧しいから家具ない．でも着ている物はわりと豪華に見えるな．」「トランクがあるからたぶん部屋の中にいてるんじゃないかしら．でも，ちょっと待ってよ，壁ないなア．床も無いワ．ひょっとしたら浮かんでいるかも知れない．でも，それちょっとおかしいね着物のすそがだらんとなって，これ多分アーティストは未完成の作品じゃないかなア，だって部屋描いてないし．白い部分がようけ残ってる」．「男かな．あまり綺麗に見エへんし．」「なんであんなに小さい手？　子どもが大人の顔のお面かぶってるのかな．へたくそな作家がプロポーションを間違って描いたのかもしれへんし．嫌いやこれ」「．なんでこれがアートなの？」　OK．たくさん情報をあげましたよ．同じステージ②でも，アホなステージ②とスマートなステージ②があるけれど，ステージ②の中でも，日本の美術がすごく好きなステージ②と，すごく嫌いなステージ②もいるけれど，いろんな人がいるよという意味ね．でも私が今演じたステージ②の彼らの思考形態ということにおいては，ほとんどのステージ②にあてはまる．

ANS ―――――――― 「絵の中で考える」

OK．他に．

ANS ―――――――― 「なぜこれがアートなのっていう質問が出てくるので，自分なりにアートとはこういうものではないかというものがある」

ベリーグッド．偏見というのは体験をとうして得られる．体験も無かったら，偏見だっ

てない．「これアートじゃ無い」って誰かが言った場合には，なんで「それアートじゃ無い」って言うの？

ANS ―――――――― 「自分の考えにあてはまるアートをみたから」

〔自分にとってのアートがある〕

ＯＫ．アートの定義ってのは，今まで私たちが見た，アートのレパートリーにもとづいて「これがアートだ」って私たちは思っているということですよね．　日本でこれ見せたら皆，これアートだと思うでしょう．　１９世紀のアメリカの人たちにこれを見せたら，「これはアートかな？」って思うかも知れない．何を，どんなアートを今まで見てきたか，自分の中でアートはこうであるという観念がある．育ってくる．決定する．しかし，「なんでこれがアートなの」って，この段階の人が言えるということは，自分で気付いていないかも知れないけど，心の中で，「これがアートやろな」って思うものがあるから，その答えが出てくるんだから．「なんでこれがアート？」っていうステージ②の人の質問から考えて，ステージ②の人のどんな他の特徴があると思う？

〔情報，知識を求める〕

「なんでこれがアート？」っていうときには，「なんでアーティストがこれを作った？」っていうことを言っていることでもある．ステージ①には，WHY ということは無い．全て知らないということを知っているからこそ，「なんで？」ということが出てくる．自分がみんな知っているなら，「なんで？」，ということは出てこない．何かそこに知らんことがあるなってことがあるから出てくる．つまり，その人が持っている知識だけでは，その人を満足させないね．だから他の人の情報や知識なんかを考慮しよう，求めるということ．

ＯＫ．他にステージ②について？

ANS ―――――――― 「自分の解釈を述べるんだけれども，それを理由づけ，正当化してある」

どのステージでも，ある意味ではそうです．

ANS ―――――――― 「自分の解釈はこうなんだけど，そうかも知れない，他の解釈もあるかも知れないという可能性を知っている」

〔部分と全体を考える〕

ＯＫ，ある意味ではそこに会話がある．「あたしこう思うんだけれど，でも私がこう思っていること，この視覚情報から考ええると正しくないかもしれない」，って自分の中に会話が存在する．ステージ②の一番重要な特徴というのは，ステージ①の人は，物語を作ろうとするのに対して，ステージ②は絵の中にある部分を取って，部分と全体がマッチするかどうかを見ようとする．「家具ないから貧しいかもしれないけど，でも，すごく豪華なような洋服を着てるじゃない」とか，「子どもみたい，だって手が小さいから．でも顔は大きい」，　部分でしょ．こうかな？ああかな？っていう，そういう予想っていうのはある意味ではフラストレーションでしょ．答えをほしいの．だからいろいろ想像したりするわけよ．それでも答えは出てきへんから，フラストレーション．ＯＫ

こういうのをステージ③までやりますネ，なんでかというと，ステージ④⑤というの

はあまり興味無い，だってもう知ってるンやから，教師としてはあんまり教えるというものはないからね．ほんの少しの人しかいないしネ．ステージ①〜③の人のことをもっと私たちは研究していきたい．

〔ＳＴ③〕　ステージ③，習いましたね，クラスファイ・ステージ．　ステージ③の芝居をします「日本の版画，ひょっとしたら肉筆画かもしれない．どっちにしろ日本の絵，美術ヤ．19世紀の西洋の美術にすごい影響を与えたネ．すごい平面的でしょ．すごい近代的に見える．」，誰かが，「ちょっとまってよ，この作者はどんなことを思って描いたの？」って聞く人がいたら，そうしたらステージ③の人はこう答える，「この作者の装飾的なパターンとか模様とか．．．」こんな風に話したがる．でも，「ちょっと待ってよ，実際この絵を良く見てどんなことが起こってるの？この絵の中で」ってまた質問したら，「ゲイシャが準備しているところか，歌舞伎の女形が準備しているところかな，ちょっと待ってタイトル何なの」って，そういう風に答える．ＯＫ？　ステージ③はどんな人？

ANS ――――――――「絵に描いてあることから判断するんだけれど，知識がありすぎて，説明ばかりになってしまう」「美術史的な知識ばかりで解解釈してしまう」

美術史的って言ったけど，それだけじゃなくってもっと大きい状況などからね．他には

ANS ――――――――「主観で見ない，技術で見る」

ベリーグッド，

――――――――「知識的なことに興味がいっていて，なぜ作家がそれを作ったかという確信的なところに触れない」

〔カテゴリーに分ける〕　アーティストに興味があるけれども，アーティストを単独で見るのではなくて，19世紀とか，日本とか，大きい状況の中でとらえようとしている．カテゴリーに分けて行こうとする，カテゴリー１，「写真？肉筆？，オー肉筆」，カテゴリー２，「日本？中国？韓国？，オー日本」，カテゴリー３，「19世紀の北斉？，いやもっと早いかもしれん，18世紀かな？　18世紀のイミテーションのポストモダンかな？」（笑）

分類．この絵とマッチするカテゴリーを探そうとする．そういうカテゴリーをいっぱい作って，それを全部ひとつにすることで，絵の状況というのを判断しようとする．

①〜③のステージの中で，たとえば教師が質問したら，誰が一番答えてくれる？　質問に反応すると思う？

ANS ――――――――「ステージ①」

ステージ①は，反応してくれるけれども，「この絵どう思う，何か描かれているの」って言った時に，「ボーイフレンドと〜」，「パーティに行く準備〜」とか，それだけ．でも，そういう話をしていくにつれて，ステージ②に段々登ってくることは可能ですよ．なぜって，そういうことを通じて他の人の話しも聞いて，いろんな見方があるんだなってこと

が，そこでそこで段々わかってくるから．で，いろんな人がいろんな答えを言うから，「ちょっと待ってよどれが正しいの？」っていう，そういう「ちょっと待ってよ」っていう質問が出てくる．ステージ②の人が，一番学ぼうとする時期です．なんででしょう

〔ＳＴ②が一番学びたがる〕

ANS ―――――――― 「美術に興味が沸いてきたときだから」

ステージ③も興味はあるよ，でも答えは言わへん．みんな黙ってんねん．いわゆるカテゴリーに入れることに質問したら答える．もちろん絶対言わへんということじゃないよでも，ステージ②の人が一番答える．会話がどんどん発展していく．なんででしょ？

ANS ―――――――― 「カテゴリーにいれる前の段階だから，感情的なところで見てるから，何が間違いで正しいかも分からないから」

それはステージ①？②？　ステージ①が主観的ヨ．ステージ②の人も正しい答えを求めている．でもなんでも吸収できるわけじゃない．正しい答えを探している．なぜステージ②の人に質問するのが良いかというと，ステージ②の人自体，自分たちの心の中で質問してるから．だから，ステージ②の人っていうのは，まるで自分に質問しているように考える．「なぜだろう？　これで合ってるのかな？」そういう風に．だから，ディスカッションすることで，その人たちは何か学んでいく．

どのステージでも，質問して答えるというテクニック，教授方法というのは大切だと思います．でも，ジャアどういう風にその質問をやっていくかっていうことが重要になってくる．

ステージ③の人，その人がステージ③に孤立して居るわけじゃない．②も③も持っている．もっと沢山のアートを見て経験を積むことで，新しいスキル，アートに対する，アプローチや考えや感じ方を学んでくるけれども，しかし，その前に持っていた①，②のスキルがなくなるわけじゃない．包括されている．ＯＫ．ステージ①から⑤に移行するのの大きな違いというのは，教育や知識ではなくって，アートに対する親密感．

ステージ①の人が何故絵を平面的やとか，空間をとらえたり，色とかテクニックとかタッチとかを見ないかといえば，他のアートを見てないから，これと別なことを較べるようなそういう状況にいてへんから．ＯＫ．主観的なステージ①，じゃステージ④の人，皆さんみたいに④か③の人，それでもまだ主観的なところがある．でも，主観的なところに止まっていない．それにクラスファイしたり，いろんなことが，それにプラスされていく．ＯＫ？

「ボイス・オブ・ミュージアム：美術言語と視覚」

12/3　9:00 ～ 12:00　〔内約２時間　省略〕

〔省略部分の概要〕

① １７世紀の絵画スライドを見て「アレゴリー」について
・描かれた内容には意味が込められているが，時代や文化が変わるとその意味が通じなくなる，読み取りにくくなる．

② 「肉を食べよう」というポスターのスライドを見て，何を伝えたいかを考えるそののち，同じ構図の「ナチの戦争宣伝のポスター」を見る．

③ ドクメンタの出品作品「ファイナ・ルー」を読み取る．
・ガイドブックの解説が，作家の経歴などに終始し，作品について何も語っていない例をみる．現在のキュレータは，これと同じようなことを繰り返しているではないか？

〔頽廃芸術展はなぜ成功したのか〕

ＯＫ，これちょっと見てください．1936年にドイツで書かれた，一般の人たちに渡された小さなパンフレットです．展覧会のタイトルは「頽廃芸術」ヒットラーと宣伝大臣のガーベラによって企画された，モダン・アートについての展覧会．モダン・アートに反対する展覧会ともいえる．

この皮肉にもモダン・アートに反対した展覧会が，皮肉にも２０世紀において最も多くの人を集めた展覧会でもあった．そういう意味では成功した展覧会．人々はモダン・アートが好きだから，大勢が来て成功したのだと思う？

ANS ―――――― 「みんな好奇心で来た」
「好きで来たんじゃなくて，物笑いのたねにしようと思って来た

他にもモダン・アートの展覧会もあったよ，他の美術館に言っても物笑いのたねにしようということは出来たはずでしょ，なぜこの展覧会に大勢来たの？　何千人という人が来た．

ANS ―――――― 「これは，悪い芸術の例として企画されたわけでしょ，だから，展覧会自体が，これは悪い芸術だって評価が決められていて．その意味では，観客が，展覧会に行って，自分たちがどう対応して良いのか分からないのと違って，態度を決めやすいから」

OK，という意味では，嫌いだろうが好きだろうが，モダン・アートに興味はあったネ興味があったということは確かヤ．第一に興味があったからこそ行ったわけネ．この展覧会には，すでに答えがあった．それは，悪いアートだっていうネ．私はナチじゃないことを皆さん知ってますよね．でも，あえてこの質問をしてみましょう．「他の展覧会に較べて，この展覧会のどこが良かったんですか？」

神秘的な秘密のアートじゃなくて，モダン・アートはどんなに悪いかを見せてあげるよ．っていうのがこのショーだった．

ANS ――――――――「同じ時にゲルマン美術展もやっていたと思うのネ，それと比較する意味で行ったんじゃない？」

でも，他のビルヂングでやっていた，これは良いアートだって言われてやっていたゲルマン美術展のほうはあまり人は見に行かなかった．悪いアートの方にみんな行った．悪い方には長い列が出来た．

ショー自体が行ったことは悪いことだった．しかし，これを企画した人というのは，一般の人たちのレベルをものすごく理解していた．どういう風にパブリックにアプローチするか，明確な言語でそれを表明するかを知っていた．人々を見下げたことをしていない．人々を，私は無知かなと思わせるような感情も起こさせない．それで，皆が心似思っている，モダン・アートに対する懐疑心を助長した．皮肉にもこれは，悪い例として見せたにもかかわらず，それはあまりにも明確に皆が理解できるようにアプローチしてあったために結果的には，見た人たちはモダン・アートをそんなに嫌いにならなかった．理解してしまった．ナチが私たちの現在の美術界に関係する人たちよりももっとすごいテクニックを持ってこういうことをしたということは，私たちが考えたら，ちょっと恐怖ですよね．

パンフレットでどんなことを彼らはしたかってことをちよっと勉強してみましょう．もちろんここには，否定的なことが書いてあるんですけれど，逆にいったら，それを肯定的に一般の人たちにすることも可能です．ということを頭においてもらいたい．

「この３枚のドローイングのうち，どれが精神病院にいる素人によって描かれたものでしょうか？　驚くなかれ，右上の作品がそうです．他の２点は，グラフィック・アートの巨匠ココシュカの作品です」って書かれている．

さっきのファイナ・ルーの時に書かれたテキストの内容との違いは何ですか？

ANS ――――――――「鑑賞者に質問を投げ掛けている」

グッド，「どれが，あなた」って言われたら，聞かれた人間は，「どれ？って見なあかんな」って見るでしょ．OK，エンゲージング，見てる人を取り込む．ドキュメントの時の解説と較べてみて，「ファイナルは，今回のドキュメントの最も若い作家のひとりである，彼はブダペスト出身で1977年〜81年にイスラエルのハイファ大学で学んで，1982 年から84年にシカゴ大学で学んでいる... 」

それと較べて，「この３つのドローイングの内，どれが気違いによって描かれたもの

でしょう」そんな質問には，「エー」って見るでしょ．他の違いは？

ANS ―――――――― 「単純だけれど説得力ある」

こういう簡単な書き方がしてるからといって，人をバカにしてるって思います？思わないでしょ．他？

ANS ―――――――― 「短い」

「比較できる」

ＯＫ，視覚的に比較できる．ファイナルのときは，作品について言っていない，見たこともない作品について書いたりしている．ある意味で全てのテキストが目の前にある作品について語っていない．他に違いは？

ANS ―――――――― 「見る方が考える質問を与えている」

考えて，どれが自分の答え出さないといけないようになっているね．ファイナルの方は「皆さんどう思う？」って質問はどこにも書いてない．「もっと他に知りたいことある？」っていうようなことは，このテキストにはなにも書いてない．他に違い？

ここに書いてあるような文章におけるテクニックは，美術館教育において全く使われていない．このあとはMOMAが初めて．

ディレクテッド・ルッキング，見る方向性を定める．短いパンフレットに書く時に，私のテクニックみたいなものがあります．その作品自体についてもっと書かないといけない．作品以外のことについて書く時は，ものすごい面白い，価値のあることでないとアカン．美術館に来た人は，立った姿でこれを読むのね．歩きながら，騒音もいっぱいあって，ＯＫ．座って作品を30分見てて，リラックスしてそれで，いまのファイナルのを読んで大体の概要を言ってってきいても，なんだったんヤロっていうような内容だったでしょう．オーライ．ある意味で皆の記憶の中に残るものでないといけない．その中に言われただけじゃなくって，言われた人間は，何か体験とか経験とかが伴っていないといけない，つまり，受動的な参加じゃなくって，能動的な参加を促す．

宿題．ココシュカについて，讃える内容で，同じ語数で書いてみてください．

世界中の美術館で，このコンテストをやろうって言ってるんです．冗談やけどね，どれだけナチよりうまく書けるかってね．

次のページを見て．

「『ドイツの熱狂的信仰の啓示』であるとして，ユダヤ人のアートディラーや美術のジャーナリストたちが魔女や幽霊と呼んだ作品です」

タイトルはそれぞれ，「キリストと密通した女」「エジプト人マリアの死」「キリスト」「いわゆる芸術家と呼ばれる作者はそれぞれ，ノルデ，モルグナー，クルトです」

そこには，ソー・コールド・アーティスト，いわゆる芸術家たちは，って書いてあるひにくっぽく，批判的に，いわゆる芸術家ってやつらはって書いてある．つまり，逆似言えば，こいつらは芸術家だって言ってるネ．

ドイツの熱狂的信仰ヤ，ってユダヤ人のアートディラーたちが呼んだこの幽霊のような作品．そういう風に言ってる．まるで幽霊のような作品．

この文はダイレクト・ルッキングを促していますか？情報としての内容としては，現在いう情報の意味とは違うネ，かっこに入れられた「ドイツの熱狂的な信仰」という言葉は，ここに描かれ人物はドイツ人に見える？，すごい崇高な人たちに見える？インフォメーションを与えているわけですけど，しかし，ある意味ではすごくショッキング．だって頭に入ってきたものとビジュアルなものとが違うから，「ハッ」と思わせる．という意味で人々の注目を引く．ＯＫ？

そのことでユダヤ人を責めてるわけですよね．その次にくるのがタイトル．

ANS ――――――――「なにか否定的な印象を与えるように書いてある．マリアはエジプト人じゃないし」

それはそうなんだけれど，こういうタイトルをこの上に書くことは，その，ダイレクト・ルッキングを促すような，たとえば，キリストと密通している女って書いてあるのを見れば，「エッどれがキリスト？どれが罪ある女だ？」って見るでしょ．

最初にはショッキング，アトラクティブなインフォメーション．その次には．何かを知覚させる，リカグナイズ，認識させる．それで人々のなかに芽生えている疑問，質問などを取ってきてそれを使う．

ナチのプロパガンダの天才的なところは，人々がすでに持っている偏見みたいなものを取り出してきてそれを使うということにある．ナチは偏見を作らなかった，すでにそこに存在していた．それをもっと一般的にした．私たちだって同じことが出来るはず．

美術館教育でも，大衆はすでに持っている偏見をもって美術館に来るんだから，それを拒否するわけではなくって，使うことはできるはずですよね．

小さなパンフレットこれ読んでくれれば，ナチのと似ていることがわかると思います．この大きいテキストは親と子が作品について語れるようになってます．小さい字で書いてあるのは大人のためです．子どもを連れてくる親たちも何かインフォメーションを欲しがっていることを私たちは知っている．だから親のためにも書いている．もちろんその時にどんなインフォメーションを与えるかということにはすごく気を付けないといけない．親に状況として良くないインフォメーションを与えてしまうといけない．

それ，全部読んで管債ね，そうしたら今まで話したこと，テキストについて良くわかるからネ．ハートフィールドの、パンフレットこれは，一般の人向け．ハートフィールドを理解するためには，政治的なことを知識として知らないと出来ないところがある．だから，一般の人に与える情報として，何が価値があって，何が価値がないのかを知るためにも，これを読んでください．これは特別展だから，たまたま来た人のためじゃなくて，みる目的で来た観客のために書いてありますけどね．だから少しレベルは高いけれどもね．来た人の誰にも興味を失わせたくないし，たまたま彼女とデイトに来た人にもウーって引きつけたいしね．

1958年にMOMAにあてて書かれた手紙です．

MOMAにしょっちゅう来ていた人からの美術館あての手紙です，美術館のだれか特定の人にあてた手紙ではない．「親愛なる美術館へ」で始まってるネ，興味あるのは，館長へ，というような事を知らないネ，マレーヴィッチのホワイトオンホワイトについて書いてある．手紙を読みます．

『この手紙は，いったいMOMAのどなたあてに書いて良いのか分からないまま，どなたか辛抱強くこれを読み，答えを書き送ってくださることを願って書いております．先週MOMAにて展示作品を見ながら過ごした数時間をきっかけに思い立って筆をとった次第です．私は，貴館に展示されている全ての作品が好きというわけではありません私が好ましく思われる数点の作品についてさえ．それを理解しているというつもりもとうていありません．でも，クレーやモンドリアンは特に私にとって印象の深い作品です．けれども私には不可思議でならない一点の作品があります．ホワイトオンホワイトと題された作品です．私にはその作品が，皮肉を込めて展示されているとしか思えないのです．とても正気の沙汰とは思えません．いったいあの作品のどこに貴館の収蔵品たる価値があるんでしょか．なにを基準に判断が下されるのですか．すぐれた良い美術とはなんなんでしょうか．だれがその価値を計るのですか．美術に対する理解とは養うことが出来るのでしょうか．もしそうなれば，いかにすれば，理解を養えるでしょうか．これらの答えがあるのならば．お返事がいただきたいと思います．』

そういう手紙．この手紙に対しての返事はアルフレッド・バー，MOMAの初代館長で．世界の近代美術にすごく重要な基礎を作り上げたとして有名な人によって，直々に書かれました．

『お返事がおくれたことをお許しください．どうか信じて下さい，我々はマレーヴィッチのホワイトオンホワイトお皮肉のつもりで展示しているわけではありません．マレーヴィッチは抽象美術の偉大な先駆者です．ごく最近もかれの重要な展覧会がアムステルダムのステデリック美術館で開催されましたし，同館はマレーヴィッチの多数の作品を収蔵しています．私たちの持っている作品は，1913〜18のロシアの絶対主義運動の中で制作された作品のうちでも究極の削減といえる作品でしょう．この絶対主義運動とはマレーヴィッチに・・・・近代美術について書いた私の本を紹介します・・・』

この手紙を書いた女性は，ステージで言えば，何段階？

ステージ②　，イエス，すごくインテリジェント，洗練されたステージ②

クレーやモンドリアンは好きだって言ってるでしょ，でも彼女はそれらを見る方法ではマレーヴィッチは当てはめれないわけ．ある意味ではこの手紙にはステージ②の人の特徴がすごく表れている．文章は詩的ネ，アルフレッド・バーよりもね（笑）．

バーの答えについてはどう思いましたか？

ANS ――――――――「マレーヴィッチのが重要な作品であることは分かるが，彼の作品の中身については触れられていない」

そうね，なぜ重要なのかについてはここでは語られていない．他に？

専門用語がいっぱいあるでしょ．おもうんですけど，マレーヴィッチ自身がこういう手紙をもらったら，どう答えるでしょうネ．私は作家が最高のものだとは思っていないよ，作品は信じてるけれどネ．マレーヴィッチが正しいと言っているわけじゃないんですよ，でもマレーヴィッチはどう答えるんだろう．みんな美術館のキュレーターだとしたら，この手紙にどう答えますか？　一時間休憩します．ギャラリー・トークは　マレーヴィッチから始めます．

ギャラリー・トーク ＝ なぜアブストラクトなのか？

12/3　13:00〜14:00

〈マレーヴィッチ　ホワイト・オン・ホワイト〉　では，一時間前の宿題，ドロシーの手紙に対する答えをどういう風に考えてもらいましたか？

ANS ―――――― 「これは，題名はホワイトオンホワイトだけれども，ブルーがかった白と，アイボリーがかった白で，白じゃないけど白の感じがするでしょ．内側と外側をどう配置するかをまず考えて，彼にとってはバランスが一番大切で，タッチもすごく静かで」

OK．アルフレッド・バーがあの手紙で言ったことよりかは今の答えの方がまだましです．それでも，ドロシーの疑問には答えていない．知識とか絵の中にある関係みたいなものを今しゃべられたから．バランスということ自体が，普通の人には通じない．
あとでそのことはまたお話しします．他には？

ANS ―――――― 「ドロシーは，モンドリアンとクレーは好きだと言っていたので色と形の構成については，たぶん彼女は興味があると思う．だから，まずこの作品の白という色と．．」

ANS ―――――― 「普通白の上に白を乗せたらわからなくなってしまうけれど，それで，白という色にも色の幅があるということと，おなじ白でも違った見方ができることを提案したから，アートといわれている」

OK．NOW，マレーヴィッチについて皆さんが今おっしゃったことは，ある意味では正しいと思うのですが，でも皆さんの話しを聞いてて，ほんとのことを言って，あまり興味がわかない．　バランスとかカラーとか，そういう微妙なことは，それらを理解してるべき人間である私ですら興味がわかない．だって，ドロシーは言ってる．この２つの白が同じ白だとは言ってない．それでも分からないって言っている．もちろん白の色が違うということは，とても意味のあることなんだけれど，しかし彼女の手紙の中で，彼女がすごく明確にたずねていることがある．それに対して今の答えはどれも答えていない．モンドリアンがなぜ好きか，それはデコラテブだから，だから装飾的なクオリィをアートの中で認めている人はそれはそれで満足してる．モンドリアンのような装飾性はこの作品の中には存在していない．彼女はクレーの色が気にいっていたかもしれないけど，それ以外に，クレーの絵の中にあって，この作品の中に無い何かがある．

ANS ―――――― 「この作品は抽象的」

イエス，クレーの作品はおかしな形だけれど具象に近いでしょ，それに対してこっちの方がもっとアブストラクト．絵の中にあるいろんな要素が彼らを満足させる．美に感動

する．意味をアートとして認めている．技法の素晴らしさに感動する人もいる．クレーのような，センチメンタルでエモーショナルな，そういう面に納得する人もいる．

この絵，作るの簡単みたいでしょ．デコラティフじゃないでしょ．意味があるようにも見えないでしょ．そういうことをずっと煮詰めていけば，じゃアートって何なんだ？彼女が提出した問題にいきあたる．人生の中で初めてこういうクオリティの作品を見た時のことを覚えていると思うのですが，努力してそのときの自分のことを頭に思い浮かべて下さい．実際の作品じゃなくって本からかもしれないけどネ．もう昔むかしだろうけど．17才の時好きだったかどうか？　5才の子は偏見ないからなんでも好き．なんでも興味があるから．コンセプチュアルなアートとか，すごくプリミィブなものを見た時に．そういう時の自分の感情というものを覚えていることは，とてもキュレーターとしてもライターとしてもエデュケーターとしても重要です．私は覚えてるよ．

だから，あの手紙に返事を書く時に，多分こういうセンテンスで始めるだろう．「私もこういった作品を見たときに，同じように感じを覚えました．」あの手紙が言っているのは，理解出来ないことへの不安というものを訴えてるのだから，だからまず最初に，あの作品は理解するのに難しい作品だということを明確にしてあげなければいけないこんな簡単のわからヘンのじゃダメ．1917年にマレーヴィッチはこれを描いて，ある意味では，ショックを与えるという目的でやったンだから，ドロシーがショックを受けたというのは，それはある意味でこの作品をすでに語っていることになる．マレーヴィッチは人々がこの作品を最初に見た時に，「ウン，この外の四角と中の四角の関係性ってのは中々興味ぶかいものがあるねエ，」なんて思ってもらおうとして描いていない．白のトーンの微妙な差，なんて考えていない．

今から，この絵を理解するために役に立つしかも面白い情報をここに，はじめてあげましょう．1918年モスクワ．その時代の建物の壁はどんな状態だったか？．私が住んでるアパートでもそれくらいに建てられたものですけど，壁と天井の間に，支えるみたいなものがあったり，花の模様の壁紙とかが壁と天井の間にあったりとかしてるけど，その状態，そういうふうな視覚に慣れていた人が，この作品を壁に掛ける．マレーヴィッチのは今まで見たことの無い絵を描いて，皆に見せようとしている．そういった形での驚愕みたいなもの，をいまここで持っていなかったら，この作品を殺していることになる．皆さんが言ったことに賛成してないわけじゃない．皆さんが言ったクオリティというものは確かにここにある．でもそれが，マレーヴィッチのこれを描いた意味とは思わない．ＯＫ？　ピカソのアヴィニィオンの娘たちネ，あれを見てね，醜い顔の女の人ヤネ，ってことを全く言わずに，あの作品について，クオリティだけについてずっとしゃべり続けているみたいなもんヤ．実際に醜い，それは偉大だよ，醜さとか表現力とかをあの作品の中でいかに使っているかってことでグレイトであるけれども，たしかにそのマドンナみたいやなくって，コンな顔の人やから，醜いことは確かでしょ．カタログとかギャラリートークで皆言ってる見たいに，「これは新しい美なんだ，」と言ったら，ピカソ自身それ聞いてびっくりするだろう（笑）．

このマレーヴィッチの作品は作った時から新しくってショッキングなものだった．人々に，自分たちが知っている知識とか絵というものを，そういう知識とか情報とかを持っていても，どういうふうにメイク・センスしていいのかわからない．わからないとい

うことを与えているわけ．それから，みんながドロシーが感じたようなことを感じるべきだと思って作者は描いている．それぐらい新しくて不可思議なものだからこそ，ひとりの人間に手紙を書かせようとまでした．「なんだこれは」それが，この作品．おわかり？

2つ目の情報ね．モスクワ，1918年．ボルシェビキの革命が起こった時．私たちは若すぎるからそのことは忘れたかもしれない．そのときにある意味では歴史をまったく分断するそういう革命だったって言われている．紀元前と紀元後ぐらいのその差（笑）．社会的に階級制度は終わって，国とかの単位は終わって，自分たちの意思にもとづいて自分たちの未来を築いていく．その革命の起こった以前のことっていうのは，ブルジョア的なものであって，昔のものであって，忘れるべきだ．そのことを頭においてじゃもう一度見よう．　カタログとかね，彼の履歴とか読んでもその答えは書いてない．これは最も民主的なオブジェ．教育，習慣，美的洗練さ，そういったことでこれが分かるといった意味で描かれた作品ではない．「アーこれね，レンブラントのタッチが表れている絵ネ」（笑）なんて人々に言わせよう思って描かれた絵ではない．歴史とか，神話とか寓話とかそんなことを描こうとして描かれていない．これを見るために必要なものってのは，あなたたちには見えない．ゼロから始めよう，この作品は何かってのを見て読もうとしても，スターリンもこの絵を見てひどい絵だと思った，スターリンも意味は取れなかったからね，スターリンが悪いか，この絵が芸術かどうか，そんなのは問題じゃないこの中にどんな考えがあるかってことが理解されなければいけない．新鮮で新しくって2つの間の微妙な関係があって，木と布でできた四角，理想的なインタレクチュアルなものというものがこのキャンバスの中に形態づけられている．正方形の四角はマレーヴィッチが一番好きな形だった．それはなぜかと言えば，自然界の中に正方形は基本的に存在しないから．もちろん顕微鏡なんかで見たらあるのヤけれど，すごく簡単に見つけられるものではない．自然界の中に無い四角，形態，90度の角度を持っているものは基本的には人工のものです．ということは人間の意思．これ真四角かと思うけれども，良く見たら違う．定規で描かなかった．この四角以外のところを塗ることで徐々に四角を作り上げていってる．この黒い縁取りに見えるところありますね，これは後で黒い縁取りじゃなくって，この色とこの色とが合ったこの境目，キャンバスの色．なぜルーラ使わんかったって？　その今の質問に答えるということは，ある意味でドロシーの手紙の質問に答えることとすごく関連している．シンプルで同時に複雑．複雑ということはゴチャゴチャしているというって思ってる人もいるけれど．それは違う．

いまお話ししたこと，それから手紙の内容のこととか，関係づけてみんなに考えてもらいたいんですけど，私が言えることは，あの手紙に対する最初の言葉は「私だってそんなふうに思ったわって」いうでしょう．それでもう一つ「そう，あなたがこの絵を見てそう感じたことは，この絵の見方としては正しいのよ，アーティストは鑑賞者にある意味で50年後にアーティストとして思ってもらいたいことを，50年後に持ってくれて，それをキュレーターに手紙を書いたなんて，それは本望だって」というのは，私たちは昔のようにショックを受けなくなってきているんだから．

それじゃ次に行きます．

もう，手紙のことは忘れて下さい．

<ニューマン ザ・ボイス>　30秒，この作品をみてください．そのあとでこの作品についてディスクライブしてください．

はい，だれから始めましょう．一番最初に言ったのが一番簡単だよ（笑）

ANS ―――――――― 「なにか，人の家の白い壁を切り取ったような」

OK．もっと言って．

ANS ―――――――― 「真ん中じゃなくってちょっと端に白い線がある」
「継ぎ目のある感じ」

OK．ベリーグッド．

ANS ―――――――― 「随分色がたくさん重ねられているように見える」

ほかは？

ANS ―――――――― 「額縁がない」

ベリーグッド．他は？もっと言って．

壁のことを言った人．ほんとの壁と比較してもらいたい．何が違うの．どこが違うの？

ANS ―――――――― 「大きさが限定されている」

OK，他には？

ANS ―――――――― 「壁は平たい感じがするけど，作品はもっとムラムラっと塗られた感じがする」

OK，作品の方が，濃い所とか薄いところとがあって，フラットな壁に較べると雰囲気があってもうすこし別な感じがする．わかるね．

絵のムードということについて話してください．絵を理解してるかどうかは別としても，それぞれの絵にはあるムードがある．そのムードについてなにか？

ANS ―――――――― 「はじめは静かだと思ったんだけれど，見ているとだんだんノイジィになってくる」

ベリーグッド．うるさいけれどもコソコソする．ムードよ，他には？

さっきのドロシーが手紙を書いた時，この作品は同じくらいの時期に描かれた．なぜドロシーは，この作品について手紙を書かないでマレーヴィッチの作品について手紙を書いたんだろう．ものすごく重要な問題．あれと較べるとこっちのほうがもっと悪いかもしれない（笑）あっちは白でもブルーっぽかったりしてたけどこっちは真っ白だもの（笑）．

ANS ―――――――― 「サイズが大きいことと，のみこまれるような雰囲気みたいなものに圧倒されて文句を言えなくなるような」

OK．小さい作品っていうのは，自分がなにかコントロールできるような感じにさせられるけれど，大きな作品だと，圧倒される．それもひとつ．しかし，人々はあっちのほうがもっと嫌いっていう，なぜ？

スケールっていうのは正しいと思いますよ．でもポロックのほうがもっと大きい．でも人々はこっちのほうをもっと受け入れてる．

ANS ―――――――― 「ラインが上から下にあって垂直で，なにか安心感がある」

OK，じゃポロックとの比較じゃ無くて．　一般の人の頭の中の構造を考えてほしい．

ANS ――――――――――「壁として見ようと思えば壁に見えるけれども，マレーヴィッチのほうがほんとに見慣れないもの」

OK，たとえばこれはある意味で静かね．他に？　描かれ方，テクニックについては？

ANS ――――――――――「わりに伝統的な描き方」

色は？　ピュアーでクリーンな感じがする．これがもしか真っ赤だったら？　マレーヴィッチよりかこっちの方がショッキングではない．マレーヴィッチのほうがもっとショッキング．これは，皆にショッキングを与えようと思って描かれたものじゃないとおもう．この作品は，クワイエットで，神秘的なことを表現しようとしている，ということは，みなさんすでにちゃんと認めている．

この作品は，1950年に描かれた『ザ・ヴォイス』です．ザ・ヴォイスよ．ア・ヴォイスじゃないよ．だれのヴォイス？　ザっていっているからにはだれかのヴォイスでしょ．だれのヴォイス？

ANS ――――――――――「神様」

（拍手）（笑）

大統領や犬の声じゃない．神とかエンジェルとか幽霊か，なにか静かでしかもミステリアスな，そういったもののヴォイス．で，バネット・ニューマン，ユダヤ人の作家です何かを再現する，提示する，具象みたいなもんに反対した人です．クリスチャンは違うだから，ユダヤ教というのは，そういうイコン，偶像を持たない．だからこそ何かをもう一度イコン化するとか，具現化する，具体的に像にしてしまうことに反対してるひとです．GODという名前すらユダヤ教では言ってはいけない．それはもう神聖なものだから．GODというのも書かない．G’で書く．彼は別に宗教的に信じていた人ではないけれど，しかし具現化とか具体的に像にしないで，イマジネーションでどんな効果を与えるか，名前だって言わない．見ない．そういう中で私たち人間として何を観念として出来るか，それから五感ではなくって，視覚とか聴覚とかでなくってもっとメンタルなものに意味を持たせるかってことに興味があった．彼の作品にいつも出てくる垂直．ここにあるジャコメッティの作品のように，垂直線は人間に見えるでしょ，ユダヤ教によると，私たちは神様のイメージによって作られた．だから垂直線は人間でありしかも神であることもある．

じゃ，次いきます．

<ラインハルト アブストラクト・ペインティング>

じゃ，またこの作品をしばらく見て，また記述してください．もう慣れてきたでしょこのエクササイズに．（笑）

なにか見えた？　ン？

ANS ――――――――――「これは．．．絵，ですか？」

ン？（笑）四角ヤロ，キャンバスの上に描いてあるヤロ，ペイントもあるし，壁にかけてあるヤロ，絵ってみんなそうでしょ．そういう特質持ってるでしょ，そういう意味で

絵冗談ヤけどな．（笑）
　もっとしっかりみてごらん．注意深くみてごらん．

何か見えた人？

アー，アー．ベリーグッド，イッツ・ア・クロッス，十字架ね．

どんな十字架かちょっと説明してみて？
ANS ――――――――――「ちょっと色が違うから」
どこに十字架があるか，言ってくれヘンとわからヘン．
９つの十字架が中に入っているね．たとえばね，真っ黒，紺がかった，紫がかった，ここもそう，ここも．．．You are happy　これは絵ですか．

ANS ――――――――――「アー，絵や」（笑）

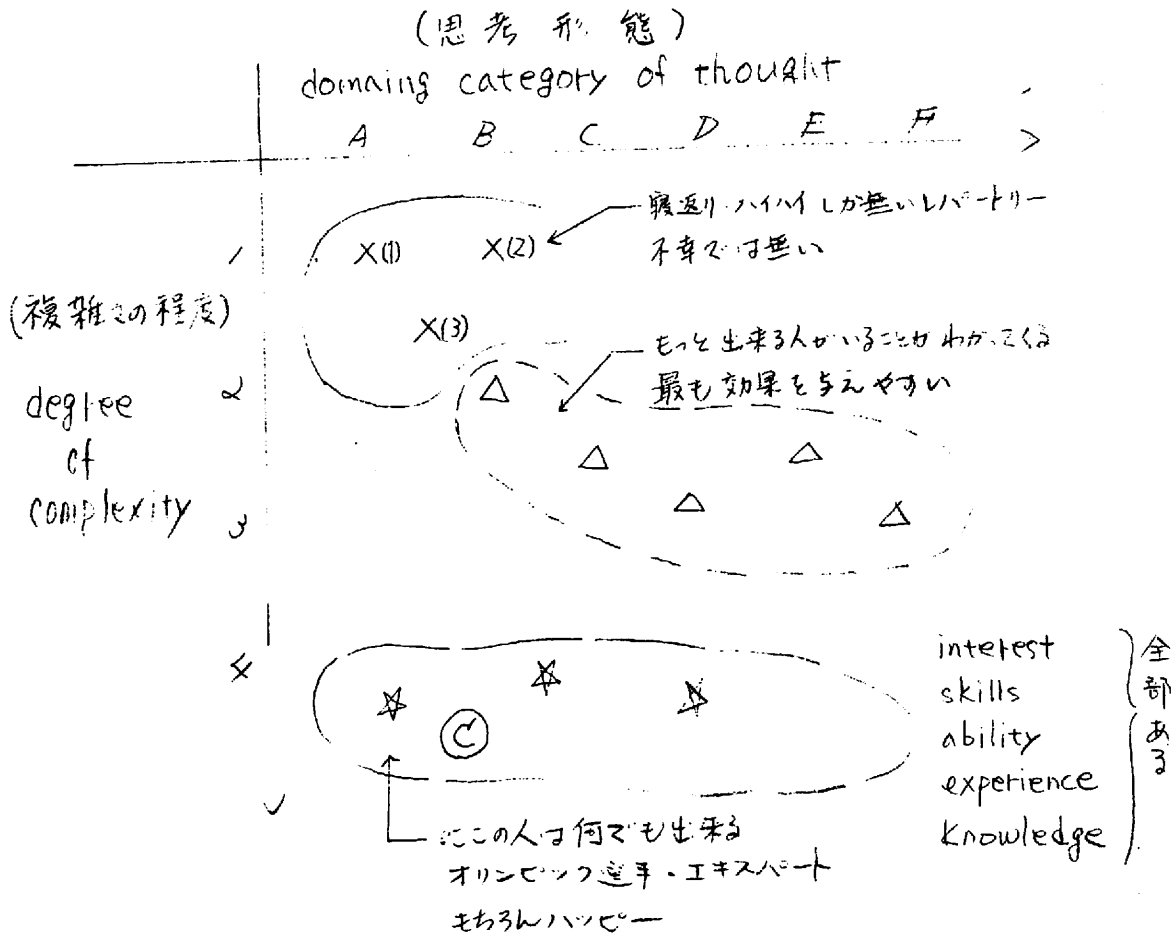
こんなに何にも描いてないんだから，これは絵ではないって，最初思ったけど，でもこの中に何か描いてあったじゃない．これ，理解するの簡単ですか？　制作するの簡単かしら？　とてもむづかしいね．私たちが目で見ることすらこんなに難しかったのに，この微妙な違いを描いていくということは，すごくむずかしいことですよね．
　部分的に見てると段々十字架だってわかるけれども，パッとみてすぐ分からない．スイスの旗みたいな訳にはいかヘンね．焦点をあわせようと思ったら消えてしまう．リラックスして見ていたら目の中に残る．すごくきれいなブルー．
　これ，ある意味でいい例だと思います，一見シンプルに見えてるのに，つくるのすごく難しい．さっきもそうだったよね．だからといってこのアートが良いとか，そういう意味で言ってるんじゃないヨ．

じゃ，質問です．ニューマンの「ヴォイス」それから，これ「アブストラクトペインティング」は，1950年から65年の間に描かれた作品です．　この時代に，私たちの文化や日常生活の中で，世界中で起こったことの中で，何が一番重要なことでしょうか？

ANS ――――――――――「高度経済成長？」
文化よ．
ANS ――――――――――「ＴＶ」
ＴＶ　私もそう思うよ．
ＴＶが出現して，みんなハーッとした，そのテレビ文化の真っ直中に突入しようとしている状況のなかで，これを描いた作家がいる，私たちの日常の視覚情報というものは，ドンドン入ってくるわけね，私たちはその状況の中にあって，私たちはだんだんショックを受けヘンようになってくるね．そういう状況のなかにあって．必死で時間をかけて見なかったら見えないような絵を描いた．
　もう一つ情報をあげます．ものすごく簡単な情報．テレビ．歴史のなかにある参考に

なるレファレンス，この場合はテレビ．さっきの場合はユダヤ教ではゴッドという名前すら発音してはいけない，興味のある情報には，皆フフーンって思ったでしょ，そういう情報を与えれば良い．

きょうここで終わります．いままで皆ならったものや仕入れたものを，ここからもう一度自分たちで取り上げて，皆さんがそれぞれの活躍される方向でもう一度応用したり考えたり発展させるなりしてほしいと思います．

〔終了〕

アビゲル・ハウゼン・リサーチ・チャート 概念図